

JOSAI



城西大学

JOSAI UNIVERSITY Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

薬学部

2020

一人ひとりの未来を

薬・食・生活 から支える3つの道

School of Pharmacy

薬学科

薬剤師養成 [6年制]

Department of Pharmaceutical Sciences

薬科学科

医薬品・化粧品・食品の研究者を育成 [4年制]

Department of Clinical Dietetics and Human Nutrition

医療栄養学科

管理栄養士養成 [4年制]

城西大学

建学の精神

学問による人間形成

学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段であるという「学問による人間形成」の建学の精神にもとづき、城西大学は、地域に根ざした国際総合大学として独自のプログラムを通し、地域や社会と連携し社会のニーズに応え、それぞれの分野での教育と研究の成果を積み重ねています。

大学の理念

建学の精神「学問による人間形成」に基づき、社会に有為な人材を育成するとともに、人類文化の発展に寄与することを理念としています。

薬学部

理念

薬学部において学んだ者が、豊かな人間性および幅広い教養と深い専門性を身につけ、地域社会の人々が主観的QOL(quality of life:生活と人生の質)を高く維持し健康のより良い状態を目指すことを支援し、さらに、社会のグローバル化に適切に対応することによって、本学の建学の精神である「学問による人間形成」を実現します。

教育研究上の目的

薬学部は、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材の育成を目指します。

1. 薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。
2. 薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目指します。
3. 医療栄養学科は、人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

薬学部では、「人々の主観的QOL(quality of life:生活と人生の質)」を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材を育成します。よって、医療・健康分野で貢献できる人材として、薬学部における知識修得に必要な基礎学力を有するとともに、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもち、物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬学部では、自立した社会人としての意識づけを行うことと、外国語の習得のための「基本科目」、幅広い人間性を養う上で有用な「関連科目」を配置しています。さらに、医療や健康に関して高い専門性を有した医療人・技術者の育成に必要な「専門科目」を配置し、段階的、体系的なカリキュラムを編成しています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士(薬学、薬科学、医療栄養学)の学位を授与します。

ここから始めよう！
JOSAI 薬学部

城西大学薬学部は、薬・食・生活の3つのアプローチから、
人々の健康を支えるスペシャリストを育てています。
よりよく生きるという考えのもとで学ぶ、かけがえのない日々。
JOSAIはあなた自身の大きな可能性に出会える場所です。

JOSAI UNIVERSITY Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

Contents

01 理念、ポリシー	07 薬学科	33 坂戸キャンパス紹介
02 Contents	15 薬科学科	35 キャンパスカレンダー／クラブ・サークル／学生サポート／奨学金
03 学部長ごあいさつ／薬学部の人間教育	23 医療栄養学科	37 出身校一覧／学生納付金
05 学科主任ごあいさつ／3学科のしくみ／学びの支援制度	31 大学院	38 アクセス

予防医療や栄養管理など、 明日の日本の健康を支える鍵を 総合的に学べる学部です。

私たち城西大学薬学部は、食と栄養に強い「薬剤師」、薬と医療の専門知識を備えた「管理栄養士」、さらに医薬品・化粧品・食品の幅広い分野でWell-being(よりよく生きる)を実現する「スペシャリスト」を養成するとともに、それぞれの領域を超えた教育研究を行うことで、人々の健康と安全な生活を実現することにあります。

現代における健康とは、単に病気でないだけでなく、からだの状態が良好で、なおかつ毎日をイキイキとその人らしく暮らせることを言います。その実現の鍵を握っているのは、病気を未然に防ぐ「予防医療」と健康の基盤をつくる「栄養管理」、そして、一人ひとりが自ら健康を管理する「セルフメディケーション」の3つです。社会に暮らす人々の、それぞれの人生や価値観に合った健康を支えるためには、医療や栄養に関する高度な知識・

技能はもちろん、適切な情報発信力を備え、何より人の思いに寄り添うことのできる人材が欠かせません。また、日本社会の高齢化が急速に進む中、事態にどう対応するかは、医療界全体の課題でもあります。

日本で唯一、薬学科・薬科学科・医療栄養学科の3学科を持つ城西大学薬学部は、こうした時代の要請に応え、医薬・食・生活の総合的な視点から、健康で豊かな暮らしを支える専門家を育成することに日々取り組んでいます。充実した大学生活の中で人間的にも大きく成長し、社会に貢献する日を目指して、ぜひ私たちとともに薬学の持つ可能性にチャレンジしましょう。

城西大学 薬学部長 **小林 大介**



城西大学薬学部の歩み

- 1965年1月 学校法人城西大学 設立認可
- 1965年4月 城西大学開設
- 1973年4月 薬学部薬学科・製薬学科開設
- 1977年4月 大学院薬学研究科
薬学専攻修士課程開設
- 1979年4月 大学院薬学研究科
薬学専攻博士後期課程開設
- 1998年4月 大学院薬学研究科
医療薬学専攻修士課程開設
- 2001年4月 薬学部医療栄養学科開設
- 2005年4月 大学院薬学研究科
医療栄養学専攻修士課程開設
- 2006年4月 薬学部薬学科(6年制)、
薬学部薬科学科(4年制)開設
- 2010年4月 大学院薬学研究科
薬科学専攻博士前期課程開設
- 2012年4月 大学院薬学研究科
薬学専攻博士課程開設
大学院薬学研究科
薬科学専攻博士後期課程開設

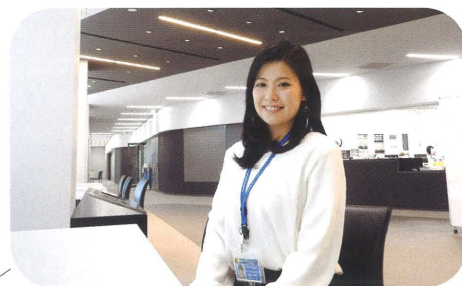
地域に、世界に貢献できる人へ。

埼玉県で大学ならではの地域と連携した活動

大学間連携

彩の国連携力育成 プロジェクト (IPW実習)

IPW (Interprofessional Work) 実習は、城西大学、埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学の学生が共同で取り組んでいる「彩の国連携力育成プロジェクト」の連携科目のひとつで、保健医療福祉の現場で患者や利用者、地域が抱える課題を通して連携や協働を学ぶことを目的としています。



Student Interview

IPW実習を体験しました！

薬学科 6年
宮鍋 舞子 さん
(東京都立豊多摩高校)

IPW実習で医療法人康正会病院に行き、入院患者さんのQOL向上の提案をする課題に取り組みました。埼玉県立大学から看護師、検査技師、作業療法士を目指す3人の学生、日本工業大学から生活空間デザイナーを目指す1人の学生、そして城西大学から薬剤師を目指す私が参加し、5人で専門職(多職種)混合チームを結成。他大学、他学部の学生と関わることは初めてでしたが、ディスカッションを重ねるうちに自然と打ち解けることができ、実習前に比べると多くの職種と協働する苦手意識がなくなりました。IPW実習は4日間という短い期間でしたが、将来、私が目指す薬剤師像が見えてくるとともに、今後の課題を見出すことができ、大きく意識が変化しました。そして未来は私たちにかかっていると実感しました。

地域連携

こま 高麗川プロジェクト

城西大学は、J-CLIP*の環境保全・環境創造の一環として高麗川流域の地域行政(越生町、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町)と連携協力し、活力ある安心・安全な地域コミュニティの実現に貢献しています。“高麗川かわガール”は高麗川の美化活動、自然・生物調査、定点観測、水質検査のほか、カヌーやアユ漁等を実施。こうした活動に学生は自主的・主体的に取り組み、地域住民との交流を通じて成長し続けています。



※城西大学は、地域課題の解決を通じた教育・研究プログラムを体系化することで、地(知)の拠点としての機能や教育の質を飛躍的に高めることを目的にしたプロジェクト活動「連携教育・研究推進プロジェクト(J-CLIP)」を全学で展開中です。

そのほか、健康長寿・環境創造・共生社会プログラム／地域教育力向上プロジェクト など

グローバル人材を育成するプログラム

短期海外研修

米国薬学・ 薬学ビジネスプログラム (スプリングセミナー)

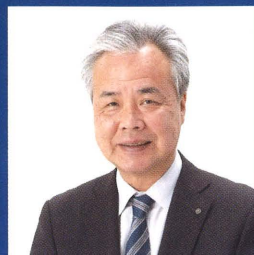
春に実施されている本学独自の短期語学研修です。現地では、英語と共に薬学、栄養学の歴史およびそれぞれの制度について学びます。若い力を国際貢献、医療を通じた社会貢献に生かすことを目標としています。



そのほか、英語教育プログラム、海外インターンシップ、語学教育、海外教育プログラム(JEAP) など

時代が求める薬剤師の新たなステージに、 薬学と栄養学の知識で対応します。

薬学科は、6年間かけて薬の専門家である薬剤師を養成するコースです。ヒトの健康のために薬を創る、患者さんのために薬を活用する、そして、職業人として薬の真の姿を明らかにする。これら薬剤師として活躍するために必須の知識と技術を学びます。これからの時代は、薬だけでヒトの健康を支えるのが難しく、食事・栄養の効用と組み合わせた健康管理がますます重要になってきます。そのため、城西大学薬学部薬学科では、そうした考え方を重要なものとして捉え、薬学に加え、栄養学の知識も身に付けた薬剤師の養成に力を注いでいます。城西大学で、薬学と栄養学の知識を磨き、地域で、そして世界で活躍できる薬剤師を目指しませんか。



薬学科 主任
夏目 秀視 教授

医薬品・化粧品・機能性食品の創造で、 広く社会に貢献できる人材を育てます。

城西大学薬学部で学ぶ「薬科学」は、私たちの生活を物質レベルで考え、生活者の安全と安心をまもることを目的とした学問です。1年生は、化学や生物、数学、英語など薬科学を学ぶ上で基礎となる科目について、高校で学んだ内容をさらに発展させてしっかりと学びます。2年生以降は医薬品、化粧品、機能性食品に関連する専門科目を学びはじめ、3年生からは自分で選んだ研究室に所属し、より専門的な知識や技術を研究を通して身につけていきます。また希望者はマレーシアに半年間留学し、実践的な英語を身につけられるのも薬科学科の特徴です。城西大学薬科学科で学び、将来は生活者の安全と安心をまもる医薬品、化粧品、機能性食品の研究者・技術者として活躍しませんか。



薬科学科 主任
杉田 義昭 教授

食品学や調理学のみならず、薬学も学び、 医療人の視点から栄養管理を行える人材を育成します。

本学科の目標は、医療人として活躍できる管理栄養士の養成です。特に栄養素摂取の過不足や不適切な食事などによってもたらされる「食毒性*」の概念をよく理解し、それに配慮した疾病治療、健康増進のための食事設計、栄養管理を実施できる人材を育てます。薬学部にも生かし、病気の仕組み、薬の働きや使い方も十分に学びます。医療の現場や地域社会において、疾病やライフステージの状況を的確・迅速に把握し、生活習慣病を抱える人々や在宅医療の患者・高齢者に、病気に配慮したおいしい食事を提供できる管理栄養士を目指します。また、薬と食物の間にある「機能性食品」の開発・販売に必要な知識を修得するのも大きな特徴です。



医療栄養学科 主任
真野 博 教授

*栄養素や食品成分が生活習慣病などの発症等に及ぼす作用のこと



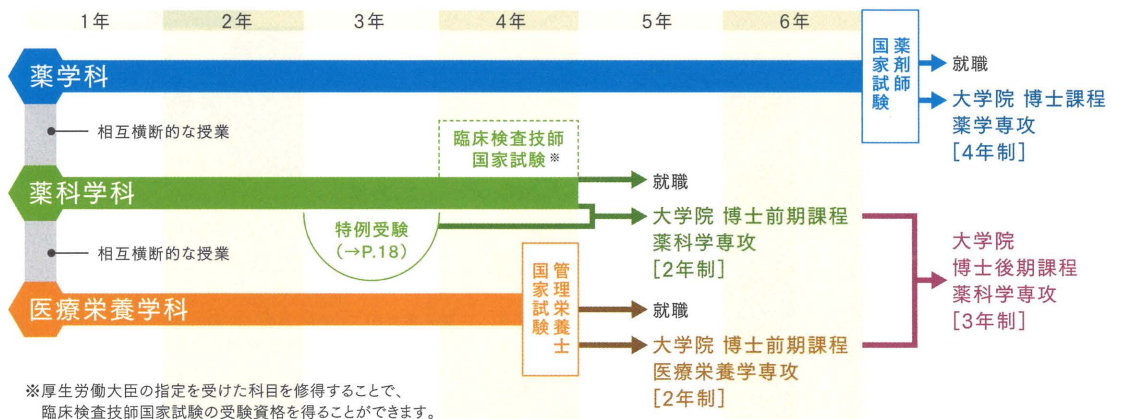
薬・食・生活からアプローチ。

城西大学薬学部は、薬剤師を育成する薬学科、薬科学研究者を育成する薬科学科、そして管理栄養士を育成する医療栄養学科の3学科で構成されている日本で唯一の薬学部です。薬・食・生活、それぞれのアプローチで人々の健康を支えるための専門分野を深めながら、さらに3学科相互に連携を図り、将来、医療の現場や企業などでの他職種連携にも対応できる幅広い視野をもったスペシャリストを育成します。

地域の健康を支える
薬剤師に

医薬品・化粧品・食品の
研究者に

医療に貢献できる
管理栄養士に



将来への確かな道筋を築くために

医療人マインドの形成

3学科共通授業

病院・薬局や企業など、どんな職場であっても、医療人には健康を失った方の気持ちに寄り添うことが常に求められます。学生であるうちに「薬学を学ぶ」とは一体どういうことなのかを再確認し、卒業後生涯にわたり必要となる意識や姿勢を育てるため、外部講師による特別講演、スモールグループディスカッションなど3学科共通の授業を実施しています。



キャリア形成支援

業界・企業研究会

薬学部におけるキャリア形成支援の一環として毎年12月に実施。保険薬局、病院、ドラッグストア、製薬・化粧品・食品企業、治験関連企業など計100社以上が参加しています。学生は卒業生や、企業の人事担当者の方から、薬剤師・薬科学技術者・管理栄養士として各施設、企業、地域での活躍の様子などを直接聞ける機会となります。



生涯教育講座

薬学部では、卒業生をはじめ、地域社会で活躍する薬剤師や管理栄養士などの医療人、医療を支える薬科学者を対象に、生涯教育講座を開講。最新情報を提供しています。



薬局管理栄養士研究会 (卒後教育)

地域の「健康支援拠点」としての役割が求められている薬局・ドラッグストアで活躍する管理栄養士の情報交換と相互の連携を図ることを目的として発足しました。



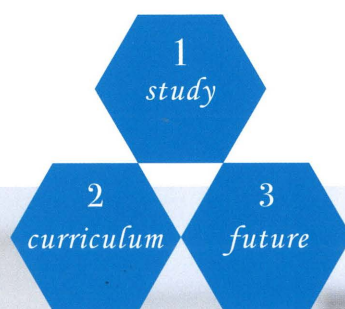
生活に身近な薬剤師として
薬による医療で人の健康を支える

薬学科

School of **Pharmacy**

[6年制]

薬剤師養成課程



アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- かかりつけ薬剤師として地域社会で暮らす人々の健康増進に貢献したいと考えている人
- チーム医療の場で多職種と連携して活躍したいと考えている人
- 食と栄養に強い薬剤師になりたいと考えている人
- グローバル化する社会に対応できる薬剤師になりたいと考えている人
- 薬剤師として求められる研究力を身につけ、薬学と医療の発展に貢献したいと考えている人

期待する能力：知識・専門性

- 薬学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人
- 高等学校で履修すべき教科・科目 英語、国語、数学、化学(物理・生物も履修することが望ましい)

期待する能力：態度・人格・思考・判断・実践的スキル・表現

- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、薬剤師資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、基本科目、関連科目および専門科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 医療人・薬剤師としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナーや総合薬学分野Ⅰが準備されています。
- 基本科目としての英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。
- 医療人・薬剤師としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつうじて養います。
- 生理・治療分野および医療薬学分野に配置されている栄養関連の科目をとおして食、栄養に関する知識を深め、食をつうじて人々の健康を守る能力を併せもつ薬剤師の育成を目指します。
- 総合薬学分野Ⅱに配置されている科目によって、医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、高度医療への対応力と、社会の多様性に対応して関連する広範な分野で人々の健康を守るために活躍できる薬剤師になる能力を養います。
- 実務実習、専門語学科目をつうじて、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する薬剤師の育成を目指します。
- 卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。このような教育目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士(薬学)の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚をもち、深い専門的な知識、広い教養と豊かな人間性を備え、関連する広範な分野で活躍する能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、薬学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献する能力
- 医療人としての深い専門的な知識と技能を、地域社会の維持・発展に対して、グローバルな視点を持って積極的に利用する能力
- 医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、地域包括ケアシステムやチーム医療の場において主体的かつ協働的に貢献する薬剤師としての能力
- 栄養学の素養、食と健康の関係に関わる知識を有し、例えば、かかりつけ薬剤師として、人々の身近にいて、その健康維持に貢献する能力

取得できる資格

薬剤師

(国家試験受験資格)

薬剤師資格を取得すれば、医薬部外品、化粧品または医療用具の製造(輸入販売)所の責任技術者、毒物劇物取扱責任者、薬事監視員、麻薬管理者、食品衛生管理者、食品衛生監視員、環境衛生指導員、検疫委員、船舶に乗り込む衛生管理者、外国製造医薬品等の国内管理者などの業務を行うことができるようになります。

目指せる専門職

チーム医療に貢献する病院薬剤師

- 他職種との連携や医師への処方提案
- 危険な薬の飲み合わせによる副作用から患者さんを守る
- 薬物治療効果を最大限に引き出す
- 栄養管理チーム(NST)への参加

在宅医療・地域医療に貢献する薬剤師

- かかりつけ薬剤師として地域住民のパートナーに
- 薬と栄養による健康増進・疾病予防の相談業務
- 在宅治療の服薬管理や栄養相談業務
- 乳幼児のお薬や栄養相談

企業や行政で活躍する医療がわかる職業人

- 医薬品の情報提供
- 行政での健康関連業務
- 医薬品の臨床開発のコーディネーター
- 医薬品の研究・開発

薬剤師としての将来を広げる学び

1

臨床に羽ばたくために しっかりとした基礎固め

からだの仕組みや病気の成り立ちを知り、薬を有効・適正に使用できる薬剤師になるために、化学・生物・物理などの基礎科目を低学年からバランス良く実施しています。基礎科目から薬学的センスをしっかりと身につけるカリキュラムです。



「不自由体験」として、高齢者、車いす、視覚障がい者体験を行います。医療人として相手の心に寄り添うための経験です。



薬学的な知識に基づいて化学成分を扱うことができるよう、有機化学実習や生物系の実習も充実しています。

2

食と栄養に強い薬剤師へ

栄養学や食品機能学も学べます。薬と食事は切っても切れない関係。薬剤師が広く地域のヘルスケアのトータルコーディネーターとして期待されていることを考えると、薬に加えて食と栄養に強い薬剤師のニーズはますます高まってきます。



薬剤師の注射剤業務への関わりが期待されているため、無菌操作室にて、注射剤などを無菌的に調製する方法も学びます。



タイやマレーシア、フィリピンからの留学生と研究を行うなど、アジア諸国と薬学教育・学術連携を強めています。

3

地域、社会、医療現場に 貢献できる薬剤師へ

フィジカルアセスメントをいち早く教育に取り入れ、患者さんに寄り添う薬剤師の育成を目指します。また、専門を超えた領域の人々と交流できる仕組みが整っており、医薬分業と医療の高度化に対応できる、質の高い薬剤師の育成を目指しています。



患者さんの健康状態を把握するためのフィジカルアセスメント実習では、地域社会で活躍するための能力を養います。



医療人教育の一環として、地域の方々に模擬(標準)患者さんとして薬学教育に参画いただいています。

る薬剤師を養成

国家試験合格へ向けた万全の学習支援体制

薬学共用試験の合格支援

5年次に実務実習へ臨む学生は、薬剤師としての基礎知識と技能・態度を測る薬学共用試験の合格を目指します。そのため、教員は1～4年次の教科目の内容に関するPC演習問題を独自に作成し、学生が自ら主体的に知識・技能・態度を修得できるe-ラーニング環境や実技トレーニング環境を提供しています。

薬剤師国家試験の合格支援

薬剤師国家試験に関連する科目の、6年間の総復習である「薬学総合演習D」や、外部講師による「秋期講習会」、「実力養成講習会」をはじめとして、薬剤師国家試験の直前には、問題演習を中心とした「直前講習会」を実施しています。この間に「模擬試験」を数回実施し、学生自身の成績を研究室主任とともに確認。学生は、研究室主任から学習方法や学生生活等に関する確かなアドバイスを受け、薬剤師国家試験に合格できる学力を養っていきます。



研究室紹介

新たな薬物をデザインし、合成することで 人々の生命を支える医薬品開発を促進。

ピックアップ！
研究室

コンピュータによる設計で、論理的に医薬品開発を進めています。

当研究室の研究テーマの1つは、エイズ治療薬の開発です。エイズは死に至る病ではなくなりましたが、エイズの原因であるHIV(ヒト免疫不全ウイルス)は変化が激しく、すぐに薬剤が効かなくなるという問題が残っています。そこで、コンピュータを用いた計算科学的な手法によってHIVの変化に対応した新たな薬物をデザインし、それらを合成して、評価を行っています。また、もう1つのテーマである脳を保護する作用をもつ抗酸化物質の開発では、デザインと合成を行った薬物を、お隣の薬品作用学研究室で細胞や動物を使用して効果を測っています。

失敗も挑戦した結果。新薬開発への貴重なデータになります。

この分野は一般的にドラッグデザインと呼ばれています。化学構造の仮説を立てて、コンピュータでデザインするのですが、実際に合成するには技術が必要で、なかなか思った通りにはいきません。しかし、失敗にも、無数の選択肢が一つ消えるという意義があります。学生にとっては、そのプロセスにチャレンジすることが大切だと思っています。この研究室では、事実を重んじ、目の前の現象を冷静に見つめて、その情報から自ら考え、判断し、行動する姿勢を学んでほしいと願っています。



医薬品化学研究室

担当教員／坂本 武史 教授、高山 淳 准教授、玄 美燕 助手

高齢化が進む社会で、医薬品はますます重要になります。薬剤師、研究者、いずれを目指すとしても、薬で人の生命を支えている責任とやりがいを感じながら医薬品のプロフェッショナルとして活躍してほしいと思います。

主な研究テーマ

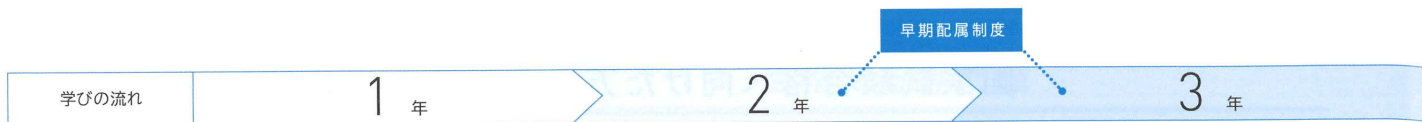
- 非核酸系逆転写酵素阻害剤の合成と抗HIV活性の評価
- 超原子価ヨウ素化合物を用いる新規環化反応の開発
及び生理活性物質の合成研究への応用
- ケイ皮酸誘導体の効率的合成法の確立と抗酸化作用の評価
- MALDI-TOFMSマトリックスの開発

薬学科の 研究室

生体分析化学研究室、公衆衛生学研究室、衛生化学研究室、薬剤学研究室、製剤学研究室、病原微生物学研究室、臨床薬理学研究室、薬品物理化学研究室、病院薬剤学研究室、薬剤作用解析学研究室、医薬品安全性学研究室、臨床病理学研究室、生化学研究室、生理学研究室、薬品作用学研究室、医薬品化学研究室、有機薬化学研究室、薬局管理學研究室、生薬学研究室 など

詳細はHPで
ご確認ください





◆医療人としての基礎を学ぶ

化学、生物の基礎とヒトのからだのしくみを理解するとともに、導入教育で医療人としての基礎を形成。

◆薬とからだの相互作用を学ぶ

薬の働き方や高度な生物学、栄養や薬の構造・性質を理解します。

◆薬の知識を身につける

薬の使い方、その化学的性質を学ぶとともに、調剤などの知識も身につけます。

向学心を応援する「早期配属制度」

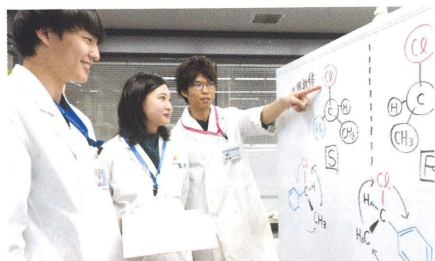
通常は3年次後期に所属研究室を決定しますが、研究に興味があり、成績上位の学生は、希望があれば2年次より研究室に所属し、卒業研究を始めることができます。

基礎教育	関連科目	国際グローバル研修 など	数理解析A・B など	資格英語II A・B 資格英語III A・B
	基本科目	<ul style="list-style-type: none"> ○フレッシュマンセミナー(薬学)A ○フレッシュマンセミナー(薬学)B ○コミュニケーション基礎英語A ○コミュニケーション基礎英語B ○コミュニケーション基礎英語C ○コミュニケーション基礎英語D 	ボランティア体験 総合生物 ◎薬学総合演習A	◎看護/介護/社会福祉演習 ◎薬学総合演習B
総合薬学分野 I	<ul style="list-style-type: none"> ◎薬学概論 ◎生物学入門 基礎化学 基礎物理学 薬学数学 	選択実験		
基礎薬学分野	<ul style="list-style-type: none"> ◎化学A ◎化学A演習 ◎生物学A ◎生物学B ◎細胞生理学 ◎化学B ◎化学B演習 ◎微生物学 ◎基礎有機化学演習 ◎生化学A ◎生化学B ◎薬学実習A(コンピュータ活用を含む) ◎薬学実習B 	<ul style="list-style-type: none"> ◎物理化学A ◎物理化学B ◎有機化学A ◎有機化学B ◎分析化学A ◎分析化学B ◎病原微生物学 ◎免疫学 ◎生薬学 ◎薬学実習D 	<ul style="list-style-type: none"> ◎公衆衛生学A ◎有機化学C ◎生化学C ◎医薬品化学演習 ◎生物有機化学演習 ◎生物統計学演習 有機化学演習 	
生理・治療分野	<ul style="list-style-type: none"> ◎解剖学 ◎生理学A 医療における栄養 	<ul style="list-style-type: none"> ◎生理学B ◎基礎薬理学 ◎薬理学A ◎基礎栄養学 ◎病態学 ◎解剖学演習 ◎薬学実習C(コンピュータ活用を含む) 化粧品・医薬部外品学A 食品機能学A 	<ul style="list-style-type: none"> ◎薬物治療学A ◎薬物治療学B ◎薬理学B ◎薬理学C ◎毒性学A ◎毒性学B ◎病態学演習A ◎病態学演習B ◎薬学実習E 栄養学 化粧品・医薬部外品学B 食品機能学B 	
医療薬学分野		<ul style="list-style-type: none"> ◎物理薬剤学A ◎物理薬剤学B 	<ul style="list-style-type: none"> ◎調剤処方学 ◎生物薬剤学 ◎薬物動態学 ◎漢方薬 ◎薬学実習F 臨床心理学 天然物化学 	
統合教育	総合薬学分野 II	<ul style="list-style-type: none"> ◎薬学英語入門 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニティファーマシー論 ◎薬剤師関係法制度概論 ◎実用薬学英語 	
薬学韓国語 薬学中国語 海外薬学英語研修 I				

効果的な薬はどんな形？

1 基礎有機化学演習

多くの薬は有機化合物であり、私たちのからだも有機化合物の集合体です。薬が効果を示すためには、薬の“形と反応”が重要であることから、薬の基本となる有機化合物の“形・構造”と“化学反応の基礎”について学びます。



専門職連携によるチーム医療は、どうすればできるの？

2 薬学総合演習A・B*

将来、専門職(多職種)の連携・協働によるチーム医療を実践するために、その基礎となるヒューマンケアマインドやIPW論(Interprofessional Work:多職種連携実践)などの連携力を養います。2学年にわたって行うことで、確実に連携力を身につけます。



※特別編として、本科目の一部の日程で実施

外部から侵入した異物にからだはどう反応する？

3 免疫学

私たちのからだを病原体から守っている免疫系の仕組み、また、免疫系が関わる代表的な疾患について学びます。さらに、抗体医薬品、ワクチン、抗体を利用した検査法に関する基本的な知識も身につけます。



い進路に対応するカリキュラム

※カリキュラムは2019年度入学用 ※◎は必修科目

※1 CBT: computer-based testing (知識および問題解決能力を評価する客観試験)
 ※2 OSCE: objective structured clinical examination (態度・技能を評価する客観的臨床能力試験)

4年

5年

6年

◆健康と薬の専門家として磨きをかける

栄養・食品などについて専門性の高い学びの段階へ。研究室への配属も決まります。

薬学共用試験(CBT※1、OSCE※2)合格への学習支援

◆病院や薬局での実務実習



共用試験に合格した学生は、5年次に病院と薬局にてそれぞれ11週間、合計22週間の実務実習を行います。ここでは薬剤師の指導、監督のもと、実際に調剤や、患者さんへの薬の説明を実施し、現場で働いているさまざまな方と接します。

◆自己開拓能力の向上

卒業研究に取り組みます。

薬剤師国家試験合格への学習支援



卒業研究では課題発見能力や問題解決能力、自らの考えを発信するプレゼンテーション力を身につけます。

◎コミュニケーション体験演習

定量的構造活性相関 医薬品の製造プロセス 物理化学演習 放射化学実習

◎薬物治療学C ◎医療栄養学.....5

病理学 ハーブ論 臨床検査学 臨床分析学

◎医薬品情報学 ◎製剤材料学
 ◎製剤管理学 ◎薬物治療演習
 ◎調剤処方演習
 コミュニティファーマシーインターンシップ

緩和医療学 医療栄養学演習 食品医薬品相互作用論

◎導入講義・演習

薬毒物分析(演習を含む)

◎社会と薬学 ◎公衆衛生学B
 ◎薬事法制度概論演習 ◎薬学総合演習C
 ◎薬学総合実習・演習A
 ◎薬学総合実習・演習B.....6
 ◎薬学総合実習・演習C

◎統合演習 ◎薬局実習 ◎病院実習

◎医薬品開発・治験論
 ◎社会保険制度・コミュニティファーマシー論
 ◎薬学総合演習D
 コミュニケーション・プレゼンテーション
 ◎学内実務実習演習

新薬開発論 公衆衛生学C 治験・統計学 医薬品・食品・化粧品マーケティング論
 バイオインフォマティクス データ解析とコンピュータ活用 医療ボランティア

◎卒業研究

海外薬学英語研修II 海外薬学英語研修III

遺伝子を
どうやって取り扱う？

4 薬学実習F

現代の医療や医薬品の開発・生産には、遺伝子を取り扱う技術が不可欠。実習ではDNAの抽出から増幅、遺伝子組み換えの基礎まで、遺伝子の多様な取り扱い方を体験。また、遺伝情報を個人情報の一つと捉え、医療人として取り扱う責任と重要性を学びます。



薬剤師に必要な
栄養学とは？

5 医療栄養学

基礎栄養学と臨床栄養学を学んだ後の本格的な栄養学演習です。各自が患者のストーリーと病気の経過を作成します。各症例を学生同士で議論し、最適な栄養治療計画を立案します。実践形式の演習で、学生の能力を120%引き出します。



治療における薬剤師の
関わり方とは？

6 薬学総合実習・演習A~C

基本的な調剤技術を学ぶため、実習用処方せんに従った調剤にチャレンジします。薬物治療、処方解析、服薬指導、調剤監査など、薬局業務に関わる基礎事項を学びながら、病気とその治療に対して薬剤師がどう関わっていくかを考えます。



1年

藤曲 麻衣 さん
(埼玉県立大宮高校)

チーム医療の一員を目指し視野を広げています

化学が好きで人と話すのが得意なことから、中学時代の担任の先生に『薬剤師に向いている』と言われ、自分でも調べるうちに薬剤師の仕事に強くひかれました。城西大学の薬学部に入学を決めたのは、薬学と同時に栄養の知識も学べるのが魅力だったからです。1年次の「早期体験」では調剤薬局を見学し、薬剤師の仕事の広がりや期待されている役割を知って、責任の重さとともにやりがいの大きさを感じました。授業では学生同士でディスカッションする機会も多く、視野が広がります。将来はチーム医療の一員として患者さんと接し、思いを理解できる薬剤師になりたいと思っています。そのために、まず基礎的な知識を固め、実習や実験を通して、少しでも多くの知識を得ることが目標です。

My Campus Life 資料が豊富な図書館

図書館をよく利用しています。古い書籍から新しい資料まで学問分野ごとに分類されていて、教科書で興味をもった事柄をより深く調べることができます。インターネットで調べたことよりも、しっかり記憶できるところが良いですね。

誰も知らない化合物の発見に挑戦中です

ずっと生物が好きで、からだの中で薬がどう作用するかに興味をもったことが入学のきっかけです。「薬理学」の授業では薬物が作用するしくみから、高齢者を治療する際の考え方といった実践的な内容まで学ぶことができ、さらに関心を深めることができました。私は、3年次から早期配属で研究室に所属し、糖の有機化学的反応を研究しています。研究室で先生や先輩方と話していて感じるのは、1・2年次の基礎科目の重要性です。すべての科目がつながっていて無駄な知識はないことを実感します。昨年は、研究室の先生の紹介で学生主催の糖に関するセミナーに参加し、若い研究者の発表に刺激を受けました。まだ誰も知らない化合物を発見し、世の中に発表するため日々実験に取り組んでいます。

My Campus Life IPE(多職種連携教育)に参加

2年次の1月半ばの2日間、薬学科の同期生とディスカッションし、発表を行いました。医療人に求められる倫理観や知識などのテーマで話し合い、発表にまとめることを通して、多様な視点を得るとともにコミュニケーション力が鍛えられました。

光田 太郎 さん

(東京都・啓明学園中学校高等学校)

4年

学外実習で患者さんとの接し方を学びたい

3年次から早期配属で薬剤学講座に所属し、新薬の有効性と安全性を動物実験に代わって確かめる装置の研究に取り組んでいます。私たちは3人のチームで、小腸の粘膜に類似したものを担当しました。完成すれば、薬の開発のスピードアップにも貢献することが期待されているため、やりががあります。4年次の「調剤処方」は、血液検査の結果をもとに、薬を患者さんに投与して良いか考え、判断を発表する授業でした。1年次から学んできたさまざまな知識が、この授業で一気につながったことがうれしく、苦勞して勉強したかいがあったと思いました。まもなく学外実習がはじまります。学んだ知識だけでなく、一人の人間として患者さんと接することを目標に貴重な経験を積みたいと考えています。

My Campus Life がん患者さんの想いを理解するために

4年次に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」に参加しました。初めての経験で、あまり患者さんに話しかけられなかったのですが、今年はずっと積極的に声をかけ、がんのつらさやいろいろな想いを患者さんやご家族から直接聴きたいと思っています。

5年

大月 茜 さん
(北海道・札幌聖心女子学院中学高等学校)

の先輩・卒業生



薬剤師

総合メディカル株式会社 そうごう薬局 勤務

2014年卒業 櫻井 利成 さん

私の仕事 ▶

薬剤師や薬局の役割が広がるなか
責任も重いことを自覚

調剤や窓口での対応のほか、患者さんのご自宅を訪ねて服薬などに関する管理を受け持つ在宅訪問を行っています。高齢者の方や、病状によって外出が難しくなった方に薬を届けるかたわら、その体調も確認しています。そして、問題が見られるようなら医師と連携をとりつつ、患者さんを見守るのが私の役割です。高齢化が進む今後の社会に向けて、薬剤師の仕事にも変化が訪れ始めている今、自身に課せられた責任の重さは常に意識させられます。しかし、そのぶん患者さんの笑顔とともに感謝の言葉をいただく「自分の役割をまっとうできた」と充実感が得られます。

大学時代 ▶

実験や実習を通して身につけた
判断力、行動力でスキルアップを目指す

私が今も大切にしているのは、「自分で考え、判断し、それを実行に移す」という大学時代に身につけた姿勢です。シンプルですが、それだけに続けていくことは難しくもあります。しかし、これから薬剤師としてスキルアップしていくためにも、この信念を貫きたいと思います。そのうえで、患者さんとの会話も大切にできる薬のスペシャリストとして、活躍し続けたいと思います。

ココが Point

① 在宅訪問

通院が困難な患者さんのお宅を訪問し、薬の正しい飲み方の説明や副作用・相互作用の確認、保管方法の説明などを行います。自宅療養中の患者さんの薬物治療が適切に行われるように、薬剤師の立場から在宅医療を支えます。

② 患者さんとの会話

在宅医療、地域医療といった分野にも貢献できる人材を育てるため、コミュニケーション能力や他の医療スタッフとの連携に関わる科目の充実を図っています。研究室での討論も、考えを分かりやすく伝える力を養う場になっています。

最近の主な進路

■調剤薬局：アイアイファーマシー、アイセイ薬局、アイランド薬局、アイリスファーマ、アイン薬局、akホールディングス、アシスト、飛鳥薬局、アビック、アポック、稲垣薬局、イントロン、ウィーズ、エスシーグループ、エムファーマ、カイエー薬局グループ、クオール薬局、クラフト、コスモファーマ薬局、シーエスグループ、白生薬局、紫山堂薬局、ジェイビー、鈴木薬局、田辺薬局、千葉薬局、知美調剤、日本調剤、日本メディカル、日本メディカルシステム、ハーブランド薬局、バル・オネスト、阪神調剤ホールディング、ファークロス、ファーマみらい、富士薬局、ファーマライズ、フラワー薬局、ブルークロス調剤薬局、フローラ薬局、まい薬局、マリンファーマシー、みよの台薬局、メディカルサポート、メディカルシステムネットワーク、メディックス、薬樹、ライフエンタープライズ、ロッツ、欄調剤薬局 など

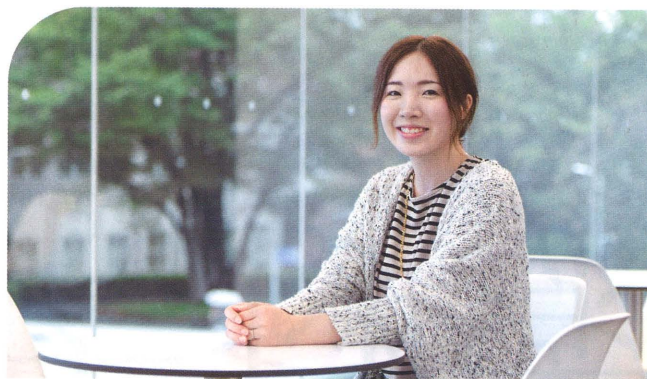
■ドラッグストア：イオンリテール、ウエルシア薬局、カワチ薬品、クスリのアオキ、クリエイトエス・ディー、サンドラッグ、スギ薬局、セキ薬局、戸部薬品、トモズ、富士薬品、マツモトキヨシ など

■病院：関越病院、AMG 東大宮メディカルセンター、IMS 富士見総合病院、TMG 新座志木中央総合病院、つくばセントラル病院、一般社団法人徳洲会グループ、茨城県厚生農業協同組合連合会水戸共同病院、群馬大学医学部附属病院、戸田中央医科グループ、行田総合病院、黒沢病院、埼玉医科大学病院、埼玉慈恵病院、埼玉石心会病院、順天堂大学附属病院、新座志木中央総合病院、総合東京病院、太田総合病院附属太田西ノ内病院、池袋病院、筑波メディカルセンター病院、筑波大学附属病院、鉄蕉会 亀田総合病院、独立行政法人・国立病院機構、栃木県立がんセンター、日野市立病院、府中恵仁会病院、防衛医科大学校病院、北関東循環器病院、獨協医科大学病院 など

■企業 (MR)：杏林製薬、ノバルティスファーマ など

■企業 (研究開発)：EPS、エイツーヘルスケア、新日本科学 PPD (臨床開発モニター)、全業工業 など

■大学院進学：城西大学大学院薬学専攻、富山大学大学院医学薬学教育科 など ■公務員：厚生労働省麻薬取締部 など



薬剤師

国立大学法人 東京大学医学部附属病院 薬剤部 勤務

2013年卒業 安田 優子 さん

私の仕事 ▶

業務を早く正確に行うとともに、
薬剤師の視点からチーム医療に貢献

当病院の薬剤部では毎日約1400枚の処方せんに対応しているため、正確さと安全性に加えて、スピードも重要です。最近では、副作用の早期発見や処方の提案など、**薬剤師の専門性**に期待される場面も多く、チーム医療への貢献も求められています。忙しい毎日の中で、患者さんの負担が少ない薬の服用法を考え、喜んでいただきたときは仕事のやりがいを感じます。入職して5年が経ち、今後は自分の経験をもとに後輩の育成にも力を注ぎたいと思っています。

大学時代 ▶

学び続ける姿勢の大切さを
心に刻んだ大学時代

大学では、薬剤師経験のある先生方の体験談なども含めて将来をイメージして学ぶことができました。現在の職場を選んだのは、群馬大学の附属病院で行った**学外実習**がきっかけです。抗がん剤の調製や輸液の混合など、大学病院でなければできない経験ができ、実習で学んだことを生かせる場で仕事をしたいと希望しました。印象に残っているのは小林大介先生の「薬剤師は一生勉強」という言葉です。薬も医療の方法も日夜進歩している中、城西大学で身につけた学び続ける姿勢は、いまでも私の確かな支えになっています。

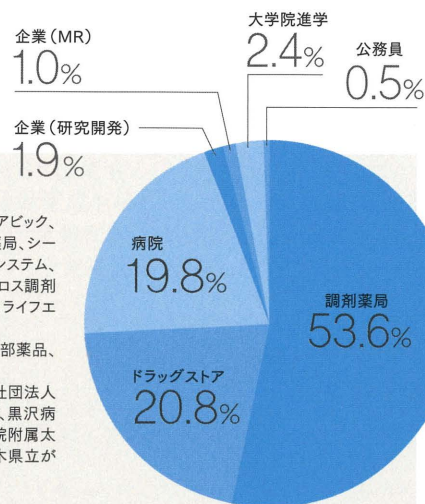
ココが Point

① 薬剤師の専門性

新しい医薬品やジェネリック薬品、ハイリスク薬などが登場する中、薬剤師でなければできない仕事も増えています。社会で活躍する力を養うため、6年間をかけて基礎から実践まで総合的に学ぶカリキュラムがあります。

② 学外実習

薬学科では5年次に病院・薬局で11週間ずつ実習を行います。埼玉県内や近隣県などの病院や薬局と提携し、多様な実習先を用意しています。現場で働いている薬剤師の姿から多くのことを学びとるチャンスです。



内訳

*2019年3月卒業時

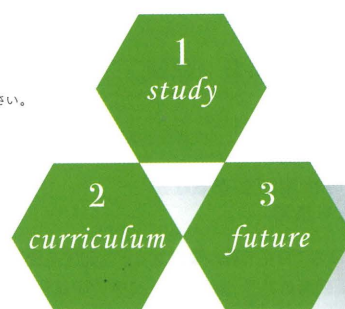
からだと化学物質の研究から
人の健康を支える

薬科学科

Department of **Pharmaceutical Sciences**

[4年制]

4年制薬学課程修了者に対して、一定条件のもと認められていた
薬剤師国家試験受験資格の経過措置が、2018年度の入学者から廃止されました。
そのため、薬科学科を卒業しても薬剤師国家試験受験資格を取得できませんのでご注意ください。



アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- 医薬品関連、機能的食品、化粧品や機能的化粧品などの研究者または開発者になりたいと考えている人
- 生命科学関連の研究者になりたいと考えている人
- 薬科学研究者・技術者として、グローバル化する社会に貢献したいと考えている人
- 医薬品、機能的食品、化粧品分野で起業したいと思っている人
- 人々の健康と安心・安全に寄与して働きたいと思っている人

期待する能力

- 薬学・薬科学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人
- 高等学校で履修すべき教科・科目 英語、国語、数学、理科(化学、生物)(物理も履修することが望ましい)
- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、基本科目、関連科目および専門科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 生活者を支援する研究者・技術者としての自覚を育て、道徳的能力および幅広い教養と豊かな人間性を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー、総合薬科学分野Ⅰの医薬品・食品・化粧品概論など、さらに関連科目を配置しています。
- 基本科目は、大学における学習方法や、学生生活の指導を通じて自立した社会人としての意識付を行い、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養うために、英語科目を配置しています。
- 関連科目には、幅広い教養と豊かな人間性を養うために、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目を配置しています。
- 専門科目(総合薬科学分野、基礎薬科学分野、生理・治療分野および医療薬科学分野)は、薬、食および化粧品などとして開発・生産される化学物質に関する知識集約型産業分野において活躍できる高い専門性を有する研究者・技術者を養成するために配置しています。
- 異文化理解力および国際的コミュニケーション力の向上を目指し、海外姉妹校で単位を修得するセメスター留学制度を設けています。
- 薬科学卒業研究、専門語学科目を通じて、研究者・技術者として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を養います。
- 薬科学卒業研究では、研究の基礎となる課題発見能力、問題解決能力、自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション能力を身につけます。
- 臨床検査技師の素養・資格をもった薬科学技術者を目指す人のために、必要な科目を必修、選択および自由科目として配置しています。
- 中学校・高等学校教諭(理科)を目指す人のために、教職関連科目を配置しています。

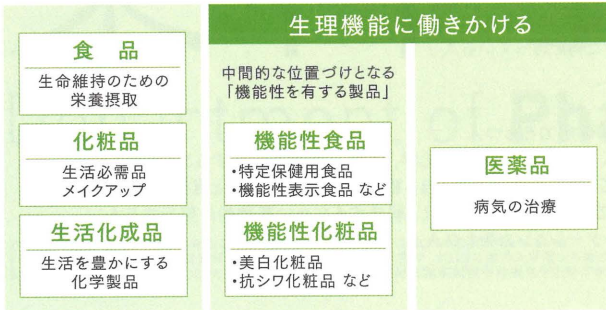
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士(薬科学)の学位を授与します。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力
- 薬学、化粧品・化粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる薬科学研究者・技術者になる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

薬科学科で学べる分野

将来は、医薬品・化粧品・食品・生活化成品の研究・開発・製造・販売に携わることができます。



目指せる専門職

研究者・開発者・技術者

- 医薬品、化粧品・機能性化粧品、機能性食品などの研究者または開発者
- 生命科学関連の研究者 ● 臨床検査の素養をもった薬科学技術者
- 医薬品、化粧品、食品、生活化成品の安全性に関わる技術者
- 治験コーディネーター ● 第1種放射線取扱主任者

営業・販売者

- ヘルスケアや美容に関する知識を備え、適切にアドバイスができる販売者
- 医薬品情報担当者(MR) ● 医薬品、化粧品、食品、生活化成品企業の営業職

教育・行政機関

- 中学校・高等学校教諭 ● 大学教員 ● 医薬品等承認審査専門職職員
- 科学捜査研究所(科捜研)職員 ● 保健所職員(劇毒物監視員など) ● 麻薬取締官

専門を深め将来を広げる学び

1

からだと化学物質の関係を 見極められる 薬科学研究者・技術者へ

医薬品だけでなく、化粧品、機能性食品、生活化成品なども、化学物質でできています。人のからだと化学物質の関係について学び、考え、医薬品・化粧品・食品の研究開発ができる薬科学研究者・技術者を育成します。



化粧品や医薬品製剤を作り、作製のための基本的な技能や、有効性を探るための評価技能を修得。またデータ解析も学びます。

2

化粧品の開発・製造・販売に 関わる専門家へ

皮膚生理に働きかけて健康に保つことを目的とした「機能性化粧品」が話題になっています。そうした強い生理効果を持った化粧品の安全性をチェックしたり、開発・製造・販売に関わることのできる専門家を育成します。



化粧品の商品開発に関わる研究者が講義を行うことも。現場の最前線の技術解説や意識、チャレンジの声を聞くことができます。

3

臨床検査の知識を持った 薬科学研究者・技術者へ

生活者のQOLを高く維持する製品の研究開発においては、健康状態を正確に判断するために臨床検査の知識が必要です。薬科学科では臨床検査の知識・技術を兼ね備えた研究者・技術者の育成も目指しています。



臨床検査技師国家試験受験対策をはじめ、将来への可能性が広がるさまざまな資格取得に向けた支援体制を整えています。

支援している資格

- 臨床検査技師(国家試験受験資格)^{※1}
 - 第一種放射線取扱主任者 ● 危険物取扱者
 - 理科教諭^{※2}
 - 登録販売者
 - ビューティケアアドバイザー
 - ヘルスケアアドバイザー
 - 健康食品管理士
- ドラッグストアで勤務する際
有利な資格

※1 厚生労働大臣の指定を受けた科目を修得することで、臨床検査技師国家試験の受験資格を得ることができます。
 ※2 教職課程の授業単位を取得することで、卒業時に取得できます。
 ・中学校教諭一種免許状(理科)・高等学校教諭一種免許状(理科)



薬学の観点から安全性や機能性を考慮した基礎化粧品、洗顔石鹸、ハンドクリームやハーブティ(写真)などの創製、販売も行っています。



埼玉県内の化粧品製造業者とともに、『動物由来成分もアルコールも一切入っていない』ハラル化粧品を開発。
 写真:見学中のマレーシア高等教育担当大臣(写真右から2人目)

製造・販売に関わる専門家を養成

特色ある学びの制度

セメスター留学

1年次後期の9月から翌年1月までの1セメスターを海外姉妹校(マレーシアのマネージメント・科学大学)にて講義や試験を英語で受け単位を取得。薬学領域で用いられる専門用語を学べるため、研究・開発職を目指す人、グローバルな活躍を目指す人におすすめです。



早期配属制度

通常は3年次後期に所属研究室を決定しますが、研究に興味があり、成績上位の学生は、希望があれば2年次より研究室に所属し、卒業研究を始めることができます。

特例受験

極めて成績優秀で、3年次終了までに卒業可能科目数及び単位数をほぼ取得していれば、特別に大学院*への入学試験の受験を認める場合があります。

*薬学研究科 薬科学専攻 博士前期課程

副専攻制度

学部学科を超えて学ぶ「副専攻制度」。経済学、経営学、理学など各学部の講義を受講することが可能です。研究・開発・製造・販売に関わるための視野を養います。

研究室紹介

機能性食品科学研究室

セルフメディケーションの重要性が増す中、食品の機能性が注目されています。当研究室では、生活習慣病やエイジングに対して効果を示す食品、ハーブ類の機能性成分を分析し、細胞実験などにより効果のメカニズムを解析しています。特に、食品成分がマウス骨髄中の体性幹細胞の分化能に及ぼす影響を調べることで、食生活の長期的影響を科学的に評価することに注力しています。一方で、植物による機能性成分の効率的生産法の確立を目指しています。

薬粧品動態制御学研究室

飲み薬と注射に代わるものとして、「微小医療機器付製剤」を皮膚中や皮膚上に適用し、インターネットを介して薬を投与する、全く新規で20年後には医療の中心を担う医薬品製剤となるべき「薬物送達システム」について研究を始めました。また、動物実験なしに新規な医薬品・医薬部外品・化粧品を開発する方法を見出す研究も行っています。

皮膚生理学研究室

化粧品や機能性化粧品が研究開発・販売されていますが、その有効性や安全性を把握する上では、それが皮膚の中でどのように作用しているかを科学的に明らかにする必要があります。当研究室では、皮膚中セラミドの生成・代謝研究、ヒアルロン酸やコラーゲンの生成調節における研究、生活習慣病皮膚の生理学的研究などを通して高度な専門性と研究能力を有する人材の育成を目指しています。

天然物化学研究室

医薬品の多くは、植物や微生物が産生する天然物をヒントに開発されています。また、漢方薬は植物や動物をそのまま、または簡単に加工したものを使用しています。私たちの研究室では、このような天然物から医薬品の候補となる化合物を見出すことを目指して研究しています。研究室に所属した学生には、天然物研究を通して医薬品開発の一端を担ってもらいたいと思います。

薬科学科教育推進室

テロや天災、事故に際し、CBRNE(化学C、生物B、放射性物質R、核Nおよび爆発物E)は大きな脅威となっています。非常事態に際し、被災者が最小限のQOLを維持するためには、CBRNE防護にかかわる研究が重要です。危機管理の視点に加えて、薬学部の研究室としての強みを生かし、災害発生時における身の周りに存在するCBRNE物質による脅威の評価や一般市民が行い得る防護について研究を行っています。

生物有機化学研究室

さまざまな有機化合物が天然物中に存在し、その生合成過程は、酵素の働きや太陽光の作用などさまざまな化学反応を含んでいます。そこで、有機化学反応を基本に生合成過程を考え、新たな化合物の生成やこれら化合物が新たな機能を持つことを仮説として立て、生物体が生合成し得る有機化合物を合成し、医薬品開発につながる生理機能の探索や天然物成分としての探索を進めています。

生物薬品科学研究室

胃粘膜を構成しているさまざまな細胞の分離・培養法を確立するとともに、細胞内のCa²⁺濃度変化を観察しながら粘液、酸、ペプシノーゲン分泌機序を解明し、医薬品の作用や細胞毒性について研究しています。さらに、消化管ホルモンと上部消化管運動との関係や糖鎖認識タンパク質の生理作用の解明、消化性潰瘍や胃炎を引き起こすピロリ菌の除菌を目的とした物質の探索などを行っています。

栄養生理学研究室

脂質は日常摂取する栄養素の一つであり、細胞膜構成成分やエネルギー貯蔵体としてだけでなく、特異的な受容体や輸送担体を介して生体機能の発達・成長・維持に関与しています。本研究室では、このような脂質の多彩な機能を解明することで加齢による生体機能の変化や疾患の予防・治療に役立つ研究をしています。研究を通して将来薬のターゲットとなるような現象の発見を目指しています。

化粧品の有効性や安全性で重要な皮膚中でのさまざまな現象を解明する。

ピックアップ！
研究室

主体的に課題に取り組み、新たな発見に出会うよるこび。

化粧品を人に使用した時、皮膚の中でどんな現象が起きているかを解明することは、化粧品の有効性や安全性を考える上でとても重要です。学生は興味のあるテーマを選んで研究に取り組んでいます。実験を重ね、新たな発見に出会えたときのよるこびは格別でしょう。一方で製薬や化粧品企業との共同研究も盛んに行っています。粘り強く取り組む学問研究と、効率や市場性を意識した企業の研究開発。双方の視点を取り入れ、社会の期待や社会人に求められる資質を知ること学びの一つです。

安全と安心を守ることが薬学部で化粧品を学ぶ意義です。

皮膚透過性を高めた機能性化粧品なども登場していますが、主作用があれば必ず副作用があることは薬学の基本です。効果の裏には危険性があることをよく理解し、消費者の安全と安心を守る姿勢を育てることが、薬学部で化粧品を研究する大きな意味であると考えています。人体のしくみを理解した上で、化粧品の開発を行うことのできる人は、まだまだ多くありません。化粧品としての有効性と、人への安全性、その両面を常に意識して研究にあたってほしいと願っています。



皮膚生理学研究室

担当教員/徳留 嘉寛 教授
鹿毛 まどか 助教

大学は自ら学ぶ場であるべきです。自ら積極的に行動し、その行動に責任を持つことで、人は成長します。私たち教員の役割はその決断をサポートすること。積極的に行動する学生に対しては、できる限りのケアをすることを約束します。

主な研究テーマ

- スフィンゴミエリン合成酵素欠損マウスの角層バリア構造および機能に対する影響
- 多糖ナノ粒子の処方設計と皮膚浸透性
- ファンデルワールス引力を利用した新規化合物の皮膚浸透に対する影響
- スフィンゴシンの角層中セラミド含量に及ぼす影響
- 皮膚バリア機能に対するスフィンゴミエリンの役割
- 皮膚糖化のバリア機能に対する影響

セメスター留学

早期配属制度



◆ 科学の基礎を理解し、興味の幅を広げる

医薬品・食品・化粧品概論、化学、生物学、物理化学などの基礎を学ぶとともに、実習も始まります。

◆ 薬科学の基礎を理解する・興味のある分野を探究する

化粧品・香粧品学、機能的食品科学などの幅広い専門科目から、興味ある分野を探究。

基礎教育	基本科目	<ul style="list-style-type: none"> ◎フレッシュマンセミナー(薬科学)A ◎フレッシュマンセミナー(薬科学)B ◎コミュニケーション基礎英語A ◎コミュニケーション基礎英語B ◎コミュニケーション基礎英語C ◎コミュニケーション基礎英語D 	
	総合薬科学分野Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ◎医薬品・食品・化粧品概論 ◎薬学数学演習 基礎生物学 基礎物理学 基礎化学 	<ul style="list-style-type: none"> ◎天然資源学 ◎有機化学A ◎有機化学B ◎分析化学 ◎機器分析学 ◎生化学B ◎免疫学 ◎生物統計学 ◎薬科学実習D 物理化学B 病原微生物学 生薬学 生化学C
	基礎薬科学分野	<ul style="list-style-type: none"> ◎化学A ◎化学B ◎生物学A ◎生物学B ◎物理化学A ◎微生物学 ◎基礎有機化学A ◎基礎有機化学B ◎生化学A ◎薬科学実習A(コンピュータ活用を含む) ◎薬科学実習B 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎薬理学(細胞生理を含む) ◎薬理学A ◎基礎栄養学 ◎化粧品・香粧品学A ◎機能的食品科学A ◎薬科学実習C(コンピュータ活用を含む) 生理学B 栄養生理学 ◎化粧品・香粧品学B 臨床化学 臨床生理学A 病態学A
	生理・治療分野	◎解剖学 ◎生理学A	
	関連科目	心理学Ⅰ 国際グローバル研修 など	数理解析A・B など
	副専攻関連科目		資格英語ⅡA・B
専門教育	医療薬科学分野		◎薬剤学 物理薬剤学
	臨床検査関連科目	※臨床検査学領域の科目を修得することで、受験資格を得ることができます。	
統合教育	総合薬科学分野Ⅱ	◎基礎薬科学英語	メイクアップ論 応用薬科学英語
			薬学韓国語 薬学中国語 海外薬学英語研修Ⅰ

大学で学んだことは社会でどう生かされる?

1 フレッシュマンセミナー(薬科学)A・B

今、大学で勉強していることは、実際の現場でどう生かされているのだろうか? 医薬品・化粧品・食品メーカーの工場や施設の見学、学科内の研究室での研究体験を通して、製品の研究・開発・生産の魅力と重要性を体得します。



研究・開発に必要なデータ解析とは?

2 生物統計学

安全で有効な医薬品の開発には、実験データを正しく理解する必要があります。また、合理的で客観性に優れる実験を立案することも重要です。生物統計学では、基礎データや臨床データを用いた演習を中心に、医薬品の開発に必須の統計的方法を学びます。



化粧品を研究・開発するのに必要な実験とは?

3 化粧品・香粧品学A・B

安全性に気を配ることはもちろん、それぞれの使用者に合った使い方で、化粧品を学ぶことは幅広いものです。この授業では、健康な肌・健康でない肌の違い、化学品としての化粧品の功罪、最適な使用方法で、「化粧品とは何か」の基礎を学びます。



幅広い知識を総合的に学ぶ

※カリキュラムは2019年度入学者用 ※◎は必修科目

特別受験

3年

4年

◆興味に応じて専門の学びを深める

より専門性の高い学びの段階へ。
研究室への配属も決まります。

◆薬科学の専門家として磨きをかける

卒業研究に取り組み、
4年間の薬科学の学びを完成させます。

課外活動

公衆衛生学A 有機化学C 放射化学実習

◎薬科学実習E 臨床薬理学 薬理学B 薬理学C 毒性学A 毒性学B
機能性食品科学B ハーブ論 臨床分析学 臨床生理学B
診断放射化学 病理組織細胞学 臨床検査学 病態学B 薬膳・機能性食品科学実習



資格英語III A・B

医薬品情報・マネジメント概論A 医薬品情報・マネジメント概論B

◎薬科学実習F 生物薬剤学 薬物動態学
製剤学 医用工学概論 セルフメディケーション論
臨床心理学 漢方薬 天然物化学

食品医薬品相互作用論

臨床検査総論A 臨床検査総論B 医療安全管理学 医用工学概論実習
血液学 寄生虫学 臨床化学実習

臨床検査臨地実習 臨床検査技師国家試験合格への学習支援

◎医薬品・食品・化粧品製造論 医薬品開発論 薬事・食品衛生関連法規
バイオインフォマティクス 医薬品・食品・化粧品マーケティング論 5

◎薬科学卒業研究 6
公衆衛生学B 公衆衛生学C

企業インターンシップI 企業インターンシップII

医薬品情報・マネジメント概論A 医薬品情報・マネジメント概論B

海外薬学英語研修II 海外薬学英語研修III

食品と薬の間には
何がある？

4 機能性食品科学A・B

食品には、栄養を補給する、おいしさを堪能させる、生活習慣病などの病気を予防するなど、さまざまな機能があります。この授業では、食品がからだに及ぼす影響を考え、食品・医薬品の中間に位置する「機能性食品」について学びます。



製品化のための
プロセスとは？

5 医薬品・食品・化粧品マーケティング論

医薬品、機能性食品、化粧品に関し、アイデア・製品・サービスのコンセプト、価格また流通を計画・実行するプロセスについて学びます。

※写真は本学科で実際に開発、販売した製品。



薬科学科4年間の
集大成！

6 薬科学卒業研究

薬科学科のカリキュラムの中で一番大切な科目です。与えられた研究テーマについて「進め方を自分で考え、実際に自分で推進する」、職業を問わず社会人として活躍するために必要な最も基本的なスキルを、卒業研究を通して身につけていきます。



薬科学科

Department of **Pharmaceutical Sciences**

3

future

目標に向かって一歩先を歩む、



1年

田中 圭 さん

(東京都・城西大学附属城西高校)

将来に備え、基礎科目を大切に学んでいます

持病に悩んでいたとき、専門医から腸内環境を改善する薬を処方され、症状が好転したことが医療に関心を抱いたきっかけです。薬の重要性を知る一方で、薬品だけでなく安全でからだに良い機能性食品を研究したいと思って薬科学科を選びました。入学後、学部をPRする活動で研究室を取材した際に、先輩方から1年次の基礎の重要性をアドバイスされ、以来授業でとったノートを、自分の教科書をつくるくらいの気持ちで整理し、理解を深めながら復習しています。「有機化学」など実験を行う授業も多く、レポートは大変ですが、条件を変えた結果を考えることで応用力が身につきました。将来は、機能性食品の研究開発に携わり、同じように病気や体調管理で苦しんでいる人の助けになることが目標です。

My Campus Life

知り合いが増えたフレッシュマンキャンプ

入学前に1年生だけで1泊するフレッシュマンキャンプがあり、薬学科や医療栄養学科にも知り合いができました。キャンパスで会うたびに、いま彼らの学科ではどんなことを学んでいるか聞けるので、知識の幅を広げることに役立っています。

最新の機材で研究の効率もアップします

医薬品開発に関心があり、社会的な貢献度も高いことから薬科学科に進学しました。この学科の機材は、常に最新のものに更新されていることが魅力です。早期配属で所属している生薬学研究室も純水を精製する装置が導入され、実験の効率が大幅にアップしました。3年次のいまはヤクモソウという天然物から、新規の化合物を見つける研究を進めています。「医薬品概論」の講義では新薬をつくる年数や費用、製薬会社で研究する際の規制などを学び、企業経験のある先生から体験談を聞くことで、将来研究開発に携わるときのイメージを広げています。今後は本格的に研究が始まります。総合大学であることのメリットを生かし、他学部の科目も履修して、広い視野を備えた研究者になることが目標です。

My Campus Life

学内の制度を利用しハンガリーで研修

研究職として海外と連携する際に役立つと思い、ハンガリーの海外研修に参加しました。制度があったことは知っていましたが、先生から参加を勧められたことが弾みになりました。研修に参加した他学部の仲間とはいまでも交流が続いています。

廣世 光呼 さん

(東京都立白鷗高校)

3年



大学生活で得た知識を社会に役立てたい

生薬学研究室に所属し、ソメイヨシノの花びらから天然有機化合物を探ることに取り組んでいます。生薬学には未知の領域が多く、身近なものから新規の物質を発見できることが魅力です。内定先の医薬品卸売企業ではMS(マーケティングスペシャリスト)として、さまざまなメーカーの製品から最適なものを提案する役割を担います。やりがいのある仕事ですが、医師や薬剤師に的確な情報を提供するためには幅広い知識が求められます。大学4年間で学んだ医薬品と食、化粧品品の知識を活用するためにも、健康食品管理士の資格を在学中に取得しました。研究を通して身につけた自ら学ぶ姿勢を大切に、卒業しても学び続けることで、より良い医療の実現に貢献したいと思っています。

My Campus Life

研究室の同期の仲間に恵まれました

研究室が好きです。研究室の同期と研究やプライベートのことなどを話しては毎日盛り上がっています。実験はチームワークも重要なので、研究室旅行や忘年会などを通して生まれた一体感を大切にしています。

4年

尾崎 加奈 さん

(千葉県・和洋国府台女子高校)



本学科の先輩・卒業生



研究開発

全薬工業株式会社 ヘルスケア開発部 勤務

2013年卒業 薬学研究科薬科学専攻2015年修了 阿部 卓哉 さん

私の仕事 ▶ 多くのスタッフと協力して
栄養補助食品を開発し、人々の健康に貢献

主に^①健康補助食品の開発を担当しています。医療用の新薬と比べると、比較的短い開発期間で人々の健康に貢献する商品をご提供できることが魅力です。製品づくりにあたっては、配合する成分や、どんな人を対象にするかなど、コンセプトからマーケティングまで幅広く検討します。営業や製造といったさまざまな部門のスタッフと意見を交わす場面も多く、「プロジェクトを動かしているんだ」という手応えを日々実感しています。

大学時代 ▶ 製品開発に必要な技術や思考法を
身につけた研究活動

大学時代に食品や化粧品に興味を持ち、^②企業との共同研究も多い先生のもとで製品開発に必要な技術や思考法をじっくり養えたことが今の仕事に大きく役立っています。研究室で留学生や大学院生と交流したり、先生が主催する学会の運営に携わったり、学び以外の経験も、現在物怖じせずに多くのスタッフと交わる力となっていることに気づかされます。薬学部校舎のロビーには卒業生が手がけた製品が並んでいます。自分が開発を担当した製品もその列に加わることが、仕事のモチベーションのひとつになっています。

ココが Point

① 健康補助食品の開発

薬科学科では生命科学の基本的な考え方やモノづくりの技術を学ぶことができます。また、研究活動では、目的に達するために何が必要かを考える論理的思考が養われるため、商品開発などに役立つ視点を得られます。

② 企業との共同研究

企業との共同研究を発展に行う研究室もあり、配属学生は研究開発や企業の方への提案を行い、実際に商品化の一端を担うことも。最先端の技術を学びながら、社会の一員としての経験が積めます。

最近の主な進路

■製薬：救心製薬、ニチイチ製薬、あすか製薬、アポットジャパン、寿製薬、スズケン、藤本製薬、アステラス製薬、メルスモン製薬、わかもと製薬 など ■化粧品：マックスファクター エスケーツー、希松、綺羅化粧品、セレーネメディカル、ディーエイチシー、ハンスバイオメド、フィッツコーポレーション、日本天然物研究所 など ■治験：エイツーヘルスケア、シミック、マイクロン、メディクロス、アスクレップ、イービーメント、MICメディカル、サイトサポート・インスティテュート、サイトプラス、新日本科学SMO など ■食品：虎昭産業、マリナフレッシュ、オムニカ、ココロカ、三共食品、長野サンヨーフーズ、角上魚類、JAいるま野、キュービー醸造、虎昭産業 など ■化学品：ダイソー など ■ドラッグストア：アイングループ、ウエルシア、スギ薬局、セキ薬品、富士薬品、ウエルシア薬局、ウエルパーク、サンドラッグ、寺島薬局、マツモトキヨシ、クスリのアオキ など ■検査：江東微生物研究所、サンリツ、保健科学研究所、BML総合研究所、ニッセンケン品質評価センター、環境サービス など ■その他：国際協商、高座豚手造りハム、musse(ミュゼ)、神奈川県相模原市中学校教員、紺商、サムシンググレート、テンブスタッフ、紺商、IMSグループ、ABCマート、アイ・エム・アイ、ウィーズ、グッドサイクルシステム、新和製作所、日本赤十字社埼玉県赤十字血液センター、八神製作所、ワールドアパート、ドンキホーテ、ローソン、リケンベッツファーマ、ネクストウェーブ、ネクスコ・パトロール関東、イワツキ、WDBエウレカ、明治商工、ヤマノホールディングス など ■進学など：城西大学大学院薬学研究科、埼玉大学大学院理工学研究科、北里大学大学院薬学研究科、上智大学大学院理工学研究科、東京大学大学院新領域創成科学研究科、東邦大学大学院薬学研究科



品質管理

ゼリア新薬工業株式会社 筑波工場 品質管理室 勤務

2014年卒業 薬学研究科薬科学専攻2016年修了 山本 みどり さん

私の仕事 ▶ 工場の生産スケジュールを守り
お客さまの信頼を裏切らないこと

私は現在、品質管理室に所属し、主に材料や原料の検査を担当しています。当社では医薬品や健康食品など、お客さまのからだに入る製品を多く扱っているため、日々、安定した品質の製品を当たり前のように届けることが何より重要です。また、製造段階で問題が発見された場合はラインを止めなければならず、その損失を防ぐ意味でも^①品質管理の責任は重大です。業務を担当してまだ日が浅く、社内外の人とのやり取りには苦心していますが、一日も早くスムーズにこなせるようになり、製品のさらなる品質向上に貢献したいと思っています。

大学時代 ▶ 城西の先生方の面倒見の良さを
社会人になってあらためて実感

学生時代に^②薬事法や化学などの基礎知識を学べたことは今の仕事の基盤を築いてくれました。また、検査の結果に異常があったときには何らかの原因があるのですが、その原因を探る力は、研究室で自ら実験の方法を考え、答えを得るために試行錯誤したことで養われたと感じています。仕事で検査結果の報告書を書くことも多いのですが、それが苦にならないのは、論文の執筆や学会発表で資料をつくる際、先生に丁寧に指導していただいたおかげだと感謝しています。

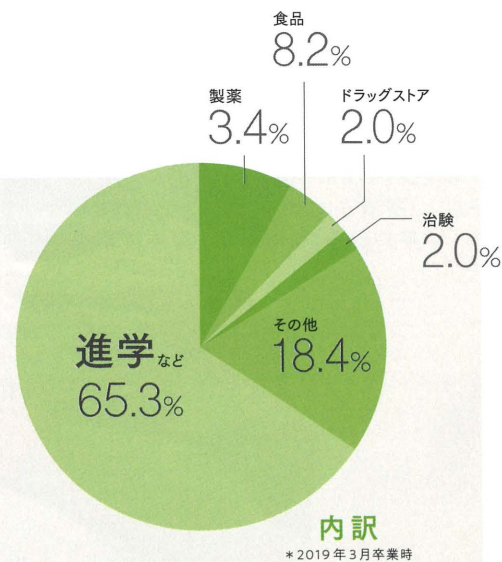
ココが Point

① 品質管理

顧客や社会の要求する品質を満たし、法規や社内のルールに則った製品を提供するには多様な知識が必要です。薬科学科では化学はもちろん、学部・学科の枠を超えて学ぶ「副専攻」制度を利用して視野を広げることができます。

② 薬事法(現：医薬品医療機器等法)

薬科学科では将来幅広い分野で活躍するための基礎知識として、医療や薬事に関する法令、食品衛生に関連する法規などをしっかりと身につけます。



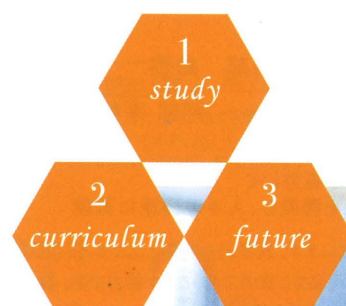
食品と薬の知識を活用して
人の健康を支える

医療栄養学科

Department of **Clinical Dietetics and Human Nutrition**

[4年制]

管理栄養士養成課程



アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

医療栄養学科は、人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指します。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- 個人をみることができる管理栄養士を目指している人
- 地域ならびに国際的な医療・福祉活動に貢献できる管理栄養士を目指している人
- 業や病気と最新の栄養学を学ぼうとしている人
- 栄養教諭として社会に貢献したい人
- 食品衛生管理者、食品衛生監視員として社会に貢献したい人

期待する能力：知識・専門性

- 医療栄養学教育に対応できる十分な基礎学力をもち、医療栄養学に強い意欲をもつ人
- 高等学校で履修するのが望ましい教科・科目 英語、国語、理科(化学、生物)

期待する能力：態度・人格・思考・判断・実践的スキル・表現

- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、管理栄養士資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医療栄養学科では、「幅広い教養と豊かな人間性を有し、地域社会ならびに国際社会において活躍できる専門性を身につけた管理栄養士の養成」を達成することを目標としています。この教育目標を達成するために、基本科目、関連科目および専門科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 医療人・管理栄養士としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー演習、医療栄養学概論・演習が準備されています。
- 基本科目として英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。
- 関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。
- 医療人・管理栄養士としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつうじて養います。
- 専門科目の基礎医療栄養学分野、衛生・公衆栄養学分野、医療栄養学分野の科目によって、医学、薬学の素養を有する栄養学のスペシャリストの育成を目指します。
- 臨床実習、専門語学科目などにより、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する管理栄養士の育成を目指します。
- 卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。
- 専門科目の中から所定の単位を取得することにより、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格を得ることができます。また、栄養教諭を目指す人のために、「教職関連科目(自由科目)」を用意しています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医療栄養学科は、基本的な医療栄養学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士(医療栄養学)の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚を持ち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力
- 医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力
- 医療制度、他職種役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協働的に貢献する管理栄養士になる能力
- 医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる管理栄養士になる能力

取得できる資格

管理栄養士 (国家試験受験資格)

栄養士
食品衛生管理者(任用資格)
食品衛生監視員(任用資格)
栄養教諭

本学医療栄養学科は厚生労働省から指定・認可を受けた栄養士養成施設ならびに管理栄養士養成施設です。卒業することにより、都道府県知事から「栄養士」免許が交付され、管理栄養士国家試験受験資格が取得できます。また、所定の単位取得により栄養教諭一種免許状が取得できます。

目指せる専門職

栄養治療ができる病院管理栄養士

- チームとの連携や医師への献立提案
- 薬との危険な飲み合わせ・食べ合わせによる副作用から患者さんを守る
- 治療効果を最大限に引き出す栄養治療の専門家
- 栄養管理チーム(NST)への参加

地域医療・福祉に貢献できる管理栄養士

- 管理栄養士として地域住民のパートナーに
- 在宅治療の栄養ケアサービス
- 栄養や、薬と栄養の関係についての相談業務
- 乳幼児のお薬や栄養相談

企業・研究所の研究・開発者

- 機能性食品の評価・開発

専門を深め将来を広げる学び

1

一人ひとりに最適な 栄養治療ができる 管理栄養士へ

病棟の現場に出て、入院患者の栄養状態を改善することで治療効果を上げるなど、医療チームの一員としての管理栄養士が求められています。「バイオサイエンスを基盤に、人間の健康を意識した栄養を理解する」「医療栄養学」を修得します。

2

薬学部内にある 医療栄養学科 ならではのカリキュラム

薬のこと、医療のことがきちんと理解でき、医薬品と食品の相互関係について学べるのは、薬学部内にある管理栄養士養成課程ならではの特色です。栄養学とともに薬学の知識・技能を持った管理栄養士や機能性食品を開発・評価・提案できる管理栄養士の育成を目指しています。

3

管理栄養士をはじめとした 食と健康に関する 資格取得を支援

医療、行政や食品関連事業などの幅広い分野で活躍するための各種資格の取得に向け、医学、薬学、食品学、栄養学などのスペシャリストが支援します。例えば、ドラッグストアで必要となる一般用医薬品販売の専門資格である「登録販売者」資格取得を在学中に目指せます。



調理実習だけにとどまらない 各種実習・実験

医療と食を理解して栄養指導ができるよう、食品に関わる調理実習だけでなく、生化学や解剖学などさまざまな実験を行います。



多角的にヒューマン コミュニケーションを 学ぶ

相手のことを理解し、納得してもらうためのカウンセリングマインドとプレゼンテーションスキルを養うため、心理系の科目も学びます。



栄養系学科 としてはいち早く OSCE※を実施

臨床現場で必要とされる判断力、技術力、マナーなどの到達度を確認するための試験、OSCE。栄養系学科としてはいち早く取り入れられました。



学外実習(病院・薬局) を実施し、確かな 経験を積み重ねる

3年次後期から4年次前期に必修科目として1ヶ月間、学外施設(病院)での実務実習を行います。さらに「薬局実習」も実施し、将来に生きる経験を積み重ねます。

※OSCE(Objective Structured Clinical Examination;客観的臨床能力試験)

ての特色を活かし、管理栄養士を養成

教員・研究紹介

詳細はHPで
ご確認いただけます



▶教員

氏名	職名	資格・学位
内田 博之	教授	衛生検査技師、博士(医学)
小林 順	教授	医師、博士(医学)
清水 純	教授	管理栄養士、博士(農芸化学)
須永 克佳	教授	薬剤師、第1種放射線取扱主任者、博士(薬学)
日比野 康英	教授	薬剤師、薬学博士
松本 明世	教授	農学博士
真野 博	教授	博士(農芸化学)
和田 政裕	教授	中学校・高等学校教諭一種免許状(理科)、農学博士
神内 伸也	准教授	薬剤師、博士(医学)
金 賢珠	准教授	韓国栄養士、博士(農学)
山王丸 靖子	准教授	管理栄養士、博士(学術)
堀 由美子	准教授	管理栄養士、健康運動実践指導者、博士(薬学)
水野 文夫	准教授	管理栄養士、NST専門栄養士、静脈経腸栄養管理栄養士、保健学修士
荒井 健	助教	管理栄養士、博士(薬学)
井口 毅裕	助教	薬剤師、臨床検査技師、薬学博士
伊東 順太	助教	管理栄養士、公認スポーツ栄養士、博士(薬学)
岩田 直洋	助教	管理栄養士、博士(薬学)
加藤 勇太	助教	管理栄養士、静脈経腸栄養管理栄養士、日本糖尿病療養指導士、修士(医療栄養学)
菊地 秀与	助教	薬剤師、博士(薬学)
君羅 好史	助教	博士(食品栄養学)
関口 祐介	助教	管理栄養士、博士(薬学)
古屋 牧子	助教	薬剤師、博士(薬学)
井上 雄介	助手	管理栄養士、日本糖尿病療養指導士、修士(健康科学)
大澤 吉弘	助手	博士(農学)
中里見 真紀	助手	管理栄養士、修士(医療栄養学)
深谷 睦	助手	管理栄養士、修士(医療栄養学)
山田 沙奈恵	助手	管理栄養士、修士(医療栄養学)

▶研究内容

- 栄養成分による廃用性疾患の進展予防、地理情報システムによる地域格差の視覚化
- 野菜の摂取と腸・唾液腺経路を介する一酸化窒素bioavailabilityに関する研究
- 各種食品機能成分による腸管内環境の改善や、大腸疾患の予防・改善効果に関する研究
- 食品およびメディカルハーブの機能性と医薬品との相互作用に関する研究
- 生活習慣病の予防に関わる食品・食品成分の探索と応用
- n-3系脂肪酸と糖・脂質代謝異常症治療薬の併用効果に関する研究
- 運動器活性化作用を有する食品機能性成分の探索、日本伝統食の機能性解析
- 機能性食品の安全性ならびに有効性評価と疾病改善補助効果を有する食事設計(薬膳)の研究
- 栄養状態がエピジェネティクス制御による遺伝子発現調節に及ぼす影響の解析
- 機能性食品による脂質代謝の正常化と生活習慣病の予防に関する研究
- 健康食品の使用に関する医療従事者の実態調査、ハラル食品の現状と課題に関する調査
- 地域や社会集団の健康の保持増進と生活習慣病予防・改善に資する研究
- 生活習慣病の栄養管理と運動に関する研究、医療における栄養教育の研究
- 高齢者の歯の状態および摂食嚥下機能レベルにおける食事状況および栄養状態への影響
- ピロリ科細菌の内毒素の生理活性や特性に関する研究
- アスリートを対象とした体組成管理と体調管理に効果的な栄養サポートに関する研究
- 虚血性脳障害メカニズムの解明と機能性食品による脳保護効果に関する基礎的研究
- 言葉のデータと数値のデータで人を科学する
- 食品と医薬品の相互作用に関する研究、天然物が及ぼす細胞恒常性への影響とその機構解析
- フードロスと農業課題解決のための食品廃棄物部位に着目した食品機能学的研究
- 機能性食品素材を利用した栄養食事マネジメントによる食環境整備に関する研究
- 食品と医薬品の相互作用情報の取得とその活用に関する研究
- Prader-Willi症候群患者・患者の親へのサポートに関するニーズ調査
- 生理活性ペプチド特にコラーゲンペプチドの消化・吸収機構の解析
- 食品医薬品相互作用情報を用いたメニュー開発や学生のアクティブラーニング効果の検証
- 母親の食習慣が児の疾病リスクや薬物代謝に及ぼす影響の解析
- 機能性食品制度のハーモナイゼーションならびに適正な表示・ヘルスクレームに関する研究

病気を治療する薬と健康を維持する食品の適切な利用によって高度なストレス社会に対抗。

ピックアップ！ 研究室



生体防御学研究室

担当教員/日比野 康英 教授、神内 伸也 准教授、岩田 直洋 助教

指示されたことをやるだけの仕事はつらいでしょう。社会人として仕事を面白くするには自ら考え、行動することが必要です。研究室でも、他人と同じ考えを持つことに安心せず、主体性を持って学び、行動する姿勢を育ててください。

主な研究テーマ

- 高血圧症を予防する食品・食品成分の探索と応用
- 脳卒中を予防する食品・食品成分の探索と応用
- 糖尿病を予防する食品・食品成分の探索と応用
- 生体内の免疫能に影響を与える食品・食品成分の探索と応用
- 生活習慣病の治療に利用される医薬品の効果と食品の予防効果の比較検討
- 食品・食品成分の負の側面をエピジェネティックな視点で解析

薬学と栄養学が融合したPharma-Nutritionに基づく研究。

生体防御学研究室では、薬学と栄養学を融合させたPharma-Nutritionの考えの下、生活習慣病の予防法や治療法の確立を目指しています。主な研究対象は、血糖値や血圧の調整、疲労の仕組みなどの解明と、その改善に役立つ機能性食品です。マンネンタケの菌糸体から抽出した成分もその一つ。免疫力アップや血糖値の上昇を抑制する成分のほか、明らかになっていない機能の発見とそのメカニズムを解明することが目標です。企業との共同研究も多く、健康食品として製品化されたものも複数あります。

知的好奇心を広げ、「食」の専門家を目指しましょう。

研究は自分の知的好奇心によって課題を解明していく営みです。また、仲間と協力することを通して、チームで課題に立ち向かう力を養うことができます。超高齢社会の医療の課題は予防へと移行し、薬学の知識を備えた栄養の専門家が果たす役割も、ますます重要になっています。病気の治療には薬が役立ちますが、健康を維持するのは「食」です。薬を使いながら、時機を見て食品へと代替し、栄養補給で人を健康にできる専門家を育てることも、私の研究室が目指していることの一つです。

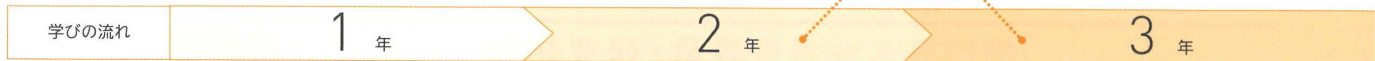
医療栄養学科

Department of Clinical Dietetics and Human Nutrition



栄養学とともに疾患や

早期配属制度



栄養治療のできる管理栄養士を目指し、3つの分野から学びを深める

栄養と食品科学	○生物学と化学の基礎を学ぶ	○食品を知り、興味を持つ	○栄養の基礎を学ぶ	○機能性食品の大切さを確認する	○栄養治療について学ぶ
臨床と薬	○人のからだの仕組みを知る	○病気の発生の仕組みを学ぶ		○医療人として必要な知識を学ぶ	○医薬品に詳しくなる
調理	○調理の基礎を身につける	○メニューにこだわった調理をマスターする		○栄養管理計画に基づいた調理をマスターする	

基礎教育	基本科目	◎フレッシュマンセミナー演習 ◎コミュニケーション基礎英語A・B・C・D	向学心を応援する「早期配属制度」 通常は3年次後期に所属研究室を決定しますが、研究に興味があり、成績上位の学生は、希望があれば2年次より研究室に所属し、卒業研究を始めることができます。
	関連科目	心理学Ⅰ 国際グローバル研修 など	数理解析A・B など
専門教育	自由科目		倫理とは何か 現代社会と法A(日本国憲法) 人と文化 社会学A ことろと身体 ジェンダー文化論 近代詩の鑑賞 日本の近世文学A 地域と風土 現代社会と法B(国際法含む) 現代政治論 世界の中の日本A 世界の中の日本B 資格英語ⅡA・B 資格英語ⅢA・B
	基礎医療栄養学分野	◎生物学 ◎生化学A ◎生化学実験 ◎生物有機化学 ◎医療栄養学概論 ◎医療栄養学概論演習 ◎食品化学 ◎基礎分析化学実験 ◎食品化学実験 ◎調理加工学 ◎調理学実習A ◎栄養情報科学実習 ◎栄養教育論A 機能性食品論	◎細胞生理学 ◎食品材料学A ◎食品機能学実験 ◎生化学B ◎基礎栄養学 ◎食品材料学B ◎調理科学実験 ◎ライフステージ栄養学 ◎応用栄養学 ◎調理学実習B ◎栄養教育論B ◎栄養教育論実習 ◎給食経営管理論 ◎給食経営管理演習 医療栄養学英語A ハーブ論 香粧品学
	衛生・公衆栄養学分野	◎微生物学	◎食品衛生学 ◎食品衛生学実験 ◎公衆衛生学 ◎公衆栄養学A ◎公衆栄養学実習
	医療栄養学分野	◎解剖生理学A ◎解剖生理学B 福祉論	◎カウンセリング演習 ◎看護学演習 ◎病態解析学A ◎薬物療法学A ◎薬物療法学B ◎解剖生理学実験A ◎臨床栄養学A ◎総合演習A 医療心理学 スポーツ栄養学演習
統合教育			◎食品機能学 ◎特殊環境栄養学 ◎栄養学実験 ◎栄養生理学実験 ◎給食経営管理実習 ◎メニュープランニング演習 医療栄養学英語B 医療経済学 医療経営学 栄養教諭概論A 栄養教諭概論B ◎臨床実習B ◎公衆栄養学B ◎臨床実習C ◎臨床実習A ◎解剖生理学実験B ◎臨床栄養学B ◎臨床栄養学演習A ◎臨床栄養学演習B ◎臨床栄養学実習A ◎臨床栄養学実習B ◎病態解析学B ◎医療制度概論 ◎薬理学 ◎栄養療法学 ◎病態解析学演習 運動生理学演習 薬物療法学C 診断放射化学 分子生物学 栄養免疫学 介護学演習 緩和医療学 分子栄養学 フードサービス論

※カリキュラムは2019年度入学者用 ※◎は必修科目

食品の化学的・物理的性質とは？

1 食品化学／食品化学実験

食品を「生きるために必要な材料の供給源」として考えると、人間栄養学における「価値」の体系が生まれます。この授業では、食品をより効果的に摂取するための調理法を理解するために、食品成分の化学的・物理的性質の基本的知識を学びます。



食の安全を確保するために学ぼう！

2 食品衛生学

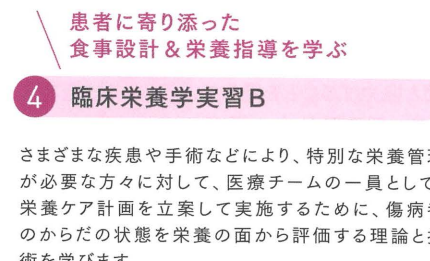
食品は、安全でなければなりません。しかし、微生物、化学物質、発がん物質などの混入・生成により食品が汚染され、人体に重大な影響を及ぼします。これを未然に防ぐため、汚染物の特性や食品衛生管理法、及び食品衛生行政・法規などについて学びます。



本格料理にチャレンジ！調理学を学ぼう

3 調理学実習B

1年次で学んだ基礎的な調理理論と技術を発展させ、ライフステージ別の食事(離乳食・介護食)や、食物アレルギーへの対応食を学びます。また、給食施設の献立の仕組みを学び、自分でメニューを設計する基礎力を養います。



患者に寄り添った食事設計&栄養指導を学ぶ

4 臨床栄養学実習B

さまざまな疾患や手術などにより、特別な栄養管理が必要な方々に対して、医療チームの一員として、栄養ケア計画を立案して実施するために、傷病者のからだの状態を栄養の面から評価する理論と技術を学びます。

医薬品に対しての深い知識を養う

管理栄養士国家試験(3月)

4年

学びの成果を形にする

臨床への
実践

卒業研究に
取り組みます。



管理栄養士国家試験
合格への学習支援

国際グローバル研修

グローバリゼーション論

薬局実習

◎卒業研究 ◎薬物食品作用学 ◎総合演習B
◎毒性学 ◎医薬品情報学 ◎内分泌学

綿密なカリキュラムで、合格まで無理なくバックアップ

「管理栄養士国家試験」には、生物学と化学を基礎とした内容が非常に多く出題されます。入学後の授業で生物学と化学の基礎知識をしっかり復習します。「管理栄養士」は、栄養評価、栄養指導、栄養療法を専門とする「医療人」であり、人体の構造と機能(生物学が基礎)、食品に含まれる栄養素(化学が基礎)の知識が必要となります。医療栄養学科では丁寧な授業時間割を作成しており、勉強漬けの毎日ではなく、楽しいキャンパスライフを送ることができます。

第33回管理栄養士国家試験
合格率 (2019年3月実施)

95.1%

全国平均 60.4%
管理栄養士養成課程 新卒平均 95.5%

課外活動による実践能力の向上

★食育

DHA (Diet and Health Association; 食と健康のサークル)

さまざまな活動を通じて学生が食育に触れ、学び、そして対象者に食育を実施することを主たる活動としています。設立当初から取り組んでいる「栄養カルタ」は、このサークルで独自に作成したもので、学生が地域の保育園などに出向き、子ども達と栄養カルタを用いて一緒に楽しみながら食の大切さを伝えています。



★スポーツ栄養

ANSWER (スポーツ栄養サポートサークル)

「食でスポーツをささえる」をコンセプトに、競技スポーツの選手や生涯スポーツを楽しんでいる方々に、学生が主体となり考えた「食で私たちができること」を最大限に提供します。お互いがハッピーになれるささえる活動を通じ、スポーツに積極的に参加し、それを通して、幅広い教養と豊かな人間性、医療人としての適切なふるまいと、専門性を身につけた地域社会ならびに国際社会において活躍できる管理栄養士を目指します。



★地域連携プロジェクト

埼玉の「食」に注目したヘルシーメニュー開発

学生が主体的に地域と連携し、埼玉県の食材に注目した「行田ヘルシーメニュープロジェクト」や「こま川めしプロジェクト」など、特色あるプロジェクトを立ち上げています。「タネまで柚子RUNスティックゼリー」の商品化もその一つ。埼玉県 毛呂山町(もろやままち)、越生町(おごせまち)、ときがわ町で生産されている「桂木ゆず」に着目し、「環境保護・健康機能」の観点から「種子」や「果皮」まで、柚子を丸ごとペースト化し、商品化しました。



医薬品に共通する特徴を学び、
薬に強い管理栄養士になろう!

5 薬物療法学A

疾病治療では薬物療法と栄養療法の併用が多く、栄養療法を行う際には、薬物療法の知識も求められています。そのため医薬品の食品との違いや働く仕組み、有効性・安全性について学びます。一般用医薬品販売ができる登録販売者の資格取得にも役立ちます。



食品と医薬品の相互作用の
マネジメントができる管理栄養士に!

6 薬物食品作用学

食物は時に医薬品の効果を変えてしまうことがあります。これまで学んだ食品や栄養、医薬品の知識を融合・発展させて、食物によって引き起こされるかもしれない薬物療法への影響を未然に防ぐための知識を身につけます。



管理栄養士
国家試験対策も万全!

7 総合演習A・B

2年次から国家試験の役に立つ授業・演習・確認試験を実施します。特に、卒業直前の半年間には特別授業をはじめ十分な対応をします。また、国家試験の模擬試験も6回以上実施しています。



※教員が作成したテキストを活用!(書店でも販売中)

医療栄養学科

Department of Clinical Dietetics and Human Nutrition

3

future

目標に向かって一歩先

1年

瀬古 颯太 さん

(群馬県・前橋育英高校)

管理栄養士に欠かせない素養を磨いています

家族が入院した際に、健康でいる大切さを知ったことと、病院の食事が口に合わなかったと聞いたことが栄養管理に興味を持つきっかけになりました。医療栄養学科を選んだのは、患者さんのための栄養を考えるには医療の知識が必要と考えたからです。実際、授業では食品と医薬品の組み合わせによる効果や悪影響など、栄養と医療の関係について詳しく学ぶことができます。また、先生方の経験に基づくお話からは、病院の管理栄養士に求められるスキルや患者さんに栄養指導する際のアプローチなど、将来現場で働くときのイメージができました。知識を学ぶことはもちろん、地域の活動などにも積極的に参加して、いろいろな世代の方と交流し、説得力のある言葉を身につけることがこれからの課題です。

My Campus Life

DHA(食と健康のサークル)で活動中

地域の保育園などに出向き、独自につくった「栄養カルタ」を使った食育を行ったり、畑で育てた野菜を子どもたちに提供したりしています。学科の先輩後輩と一緒に楽しく取り組みながら、経験したことを将来に役立てたいと思っています。

丸谷 さゆり さん

(千葉県・成田高校)

3年

インターンシップで成長を実感しました

3年次の夏休み、インターンシップに参加して気づいたのは、薬の知識を身につけている強みでした。薬と食事は組み合わせによって危険なケースもあり、現場の薬剤師の方の説明がよく理解できたのはその成果です。この学科は「調理学実習」や「公衆栄養学」「栄養教育論」など、グループワークで何かを作り上げる授業が多く、協調性やチームワークの大切さも学ぶことができます。高齢化が進む中、栄養で健康を維持することは社会のニーズであり、今後も活躍の場は増えていくと思います。しかし、いくら栄養指導をしても実践してもらわなければ意味がなく、対象者をやる気にさせる工夫が求められます。これからはじまる「臨地実習」では、その方法を現役の管理栄養士から学びたいと思っています。

My Campus Life

代表を務めているカーリングサークル

首都圏近郊のリンクを借り切って社会人や小中学生と一緒に練習しています。大会に出場すると高齢者や障がい者の方もいて、カーリングを通して交流が広がりました。団体の代表は初めての経験ですが、守る大変さと育てる楽しさの両面を味わっています。



4年

滝谷 彩花 さん

(埼玉県立所沢西高校)

チームから信頼される管理栄養士を目指して

医療栄養学科の学外実習は4年次に設けられていることが特徴です。授業をひと通り受講し、臨床の知識も得てから実習に参加するため、現場で行われていることの意味をより深く理解することができます。急性期病院での実習では、刻々と変化する病態にすばやく対応する管理栄養士の方を見て経験の重みを感じました。またNST(栄養サポートチーム)に参加した際は、治療の効果を高める栄養管理を話し合う中で、管理栄養士の意見が尊重され、医師や看護師から信頼されている様子がうかがわれ、私も頼られる存在になりたいと思いました。目標である病院の管理栄養士を目指して、患者さん目線で栄養管理ができるように、食と栄養はもちろん薬の知識をしっかり身につけたいと思っています。

My Campus Life

先生のすすめでボランティアを体験

学科の先生に相談したところ、東京都の障がい者の運動会を紹介され、そのサポートをしました。用具の準備や競技のサポートをする中、いま何をすればその人のベストかを考える姿勢の大切さに気づき、栄養士の仕事にも通じる経験ができました。



を歩む、本学科の先輩・卒業生



NST専門療法士

医療法人社団 時正会 佐々総合病院 栄養科 勤務

2012年卒業 萱場 慶太 さん

大学時代 ▶ 栄養サポートチーム (NST) で多職種と連携し、患者さんの回復を支援

医師の食事箋をもとに食料を作成して厨房に伝えることからキャリアをスタートしました。その後、献立の作成や栄養指導などを経験し、現在は**NST (Nutrition Support Team)**で、医師や看護師をはじめさまざまな職種の方と協力しながら、患者さんの回復をサポートしています。栄養管理は患者さんの治療の基本です。栄養士の役割の重さを実感し、普段から患者さんの話をよく聞いて、一人ひとりに合った栄養を提供できるように心がけています。食の好みも含め、さまざまな要素を満たす栄養計画をつくるのは難しい課題ですが、患者さんが元気になって退院する姿を見ると、その苦労も報われます。

私の仕事 ▶ 食と医薬品の相互作用を学んだことが業務に直接役立っている

学生時代、病院実習で**栄養指導**などの管理栄養士の仕事を体験し、NSTチームにも帯同したことが、病院の管理栄養士を目指すきっかけになりました。栄養が満たされていないと、手術後の回復が遅れ、感染症にかかりやすくなるなど影響は見逃せません。食品によっては薬の効果を低下させる場合もあり、大学時代に食と医薬品の密接な関係を学んだことが仕事に直接役立っています。

ココが Point

① NST (Nutrition Support Team)

NSTは医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師などがそれぞれの知識を持ち寄り、患者さんの栄養管理を行う専門チームのことです。NSTが適切な栄養管理を行うことによって、順調な回復と入院日数の短縮に効果をあげています。

② 栄養指導

検査データはもちろん重要ですが、患者さんに合わせた栄養指導を行うためには、一人ひとりに寄り添い、対話することが大切です。城西大学では「カウンセリング演習」などの科目を通して、相手を理解し、説得する力を養うことができます。

最近の主な進路

■**病院**：東京医科大学八王子医療センター、埼玉医科大学病院、福島県立医科大学附属病院、自治医科大学附属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、国立病院機構、埼玉県立がんセンター、千葉大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東海大学医学部附属病院、東邦大学医療センター大森病院、信州大学医学部附属病院、さいたま赤十字病院、裾野赤十字病院、水戸赤十字病院、TMG (戸田中央医科グループ)、IMSグループ (板橋中央総合病院グループ)、AMG (上尾中央医科グループ)、埼玉県総合リハビリテーションセンター、JA長野厚生連、関越病院、川崎幸病院、湘南鎌倉総合病院、練馬総合病院、墨田中央病院、八王子消化器病院、初台リハビリテーション病院、公立置賜総合病院、佐野厚生総合病院、埼玉石心会病院、国際医療福祉大学・高邦会グループ など ■**介護老人福祉施設、児童福祉施設**：SOMPOケアネクスト、特別養護老人ホームこもれびの郷、社会福祉法人よし乃郷、社会福祉法人常盤福祉会、モード・プランニング・ジャパン 雲母保育園、武蔵浦和保育園、社会福祉法人東中川会 東中川保育園、社会福祉法人とねの会、さくらさくらみらい、こどもの森グループ など ■**ドラッグストア、調剤薬局**：トモズ、ウエルシア薬局、ココカラファイン、セキ薬品、クリエイトエス・ディー、マツモトキョシ、エフケイ、クオール、ツルハドラッグ、アピック、フォーラル、薬樹、望星薬局、カワチ薬品、ミアヘルサ (日生薬局)、サンドラッグ、アップルケアネット、アインファーマシーズ など ■**給食委託施設/フードサービス**：日清医療食品、西洋フード・コンパスグループ、富士産業、エムサービス、ダイエターケア、グリーンハウス、LEOC、王将フードサービス、ファンデリー、エー・ピーカンパニー など ■**食品メーカー**：キリンビール、キュービー、東洋水産、花王、山崎製パン、菊池食品工業、武蔵野フーズ、キサイフーズ工業、BML フード・サイエンス、クリニコ、ドンク、アベゼン・レストラン・システムズ など ■**医薬品メーカー**：Meiji Seika ファルマ、EAファーマ、ノバルティスファーマ、杏林製薬、全薬工業、日本新薬 など ■**公務員**：埼玉県職員、東京都職員、新潟県上級職員、羽生市職員、鶴ヶ島市職員、他自治体公務員 など ■**進学**：城西大学大学院、静岡県立大学大学院、熊本県立大学大学院、神奈川県立保健福祉大学大学院、日本女子大学大学院、日本女子体育大学大学院、東京農業大学大学院、福岡大学大学院 など



管理栄養士

厚生労働省所属 消費者庁 食品表示企画課 勤務 (出向)

2015年卒業 薬学研究科 医療栄養学専攻 2017年修了 池口 恵佳 さん

大学時代 ▶ 研究を通して身につけた自己管理の能力が今に生きています

陸上競技にも打ち込み充実した学生生活を過ごしました。研究では食品の成分研究に取り組み、成果を学会で発表することもできました。**研究活動**は限られた期間で結果を出す必要があります、自ら計画を立て、実行する力が求められます。ゴールから逆算し、課題を一つひとつ解決していった経験は、今、仕事をする上でも大いに役立っています。

私の仕事 ▶ 食生活の改善や健康づくりに役立つ情報提供を実践

私は現在、消費者庁の食品表示企画課という部署で、栄養成分表示を担当しています。栄養成分表示はお店に並ぶたくさんの食品の中から、自分の健康や栄養状態に合ったものを選ぶ目安になるのですが、まだまだ世の中に浸透しているとは言えません。より多くの人に表示を活用してもらうためにはどんな情報が必要か、食生活の改善や健康づくりに活用してもらうにはどうすれば良いか、試行錯誤しています。昨年は徳島で世代別に用意したパンフレットをもとに調査を行いました。説明の量は適切か、内容はわかりやすいか、今後の食生活に役立つと思うか、などの反応を今後の**普及・啓発活動**につなげたいと思っています。

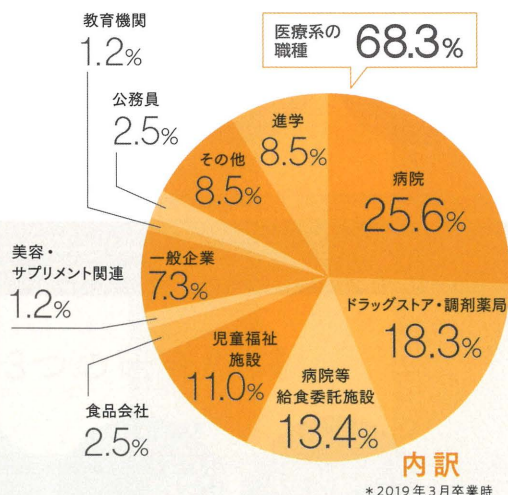
ココが Point

① 研究活動

卒業研究でテーマに関する知識を広げ、深く考察するという経験は、将来仕事に必要な知識を探るときの助けになります。研究室の仲間や学会などで出会う識者との交流も広い視野を育むことにつながっています。

② 普及・啓発活動

各省庁からさまざまな専門職が集まり、協力して政策を進める中、管理栄養士には栄養や食品に関する知識や技術が求められます。政策を考え、実行する上では、薬学部で学ぶ医療の視点が大きに役立ってでしょう。



より深い専門性と、より広い視野で
人びとの「健康」をサポートする

大学院

Graduate School of **Pharmaceutical Sciences**



QOL(quality of life:生活の質)に基づいた国民一人ひとりの健康増進をサポートしていくために、より高度、広範で、深い能力を持つ薬学・栄養学の専門家が、今、強く求められています。こうした社会のニーズにこたえていくため、城西大学大学院薬学研究科ではより深い専門性とより広い視野で人びとの「健康」をサポートする人材を育成しています。充実した講義・演習・実習等を通して、より深く専門性を探究すること。そして、より複雑化していく「健康」を分析するため、専門以外にも領域を超えて学識を養い、多角的にアプローチすること。これら二方向からの学びによって、高度な専門性と幅広い分野に対応できる応用力を兼ね備える、バランスの取れた専門家の育成を目指していきます。そして、創薬・化粧品開発、機能性食品開発、医療等、それぞれの現場で「健康」に幅広く貢献できる、そんなスペシャリストを養成していきます。

城西大学 大学院 薬学研究科 全体図



各専攻の紹介



博士前期課程 薬科学専攻 [2年制]

Pharmaceutical Sciences,
Master's Program

国民一人ひとりが主観的な生活と生命の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる
高度な専門職業人の育成を目指します

薬学が対象とする広範な専門分野のうち、医薬品・化粧品・機能性食品・消費生活用製品等の、ヒトが摂取または曝露する可能性がある化学物質の研究開発に対して、安全性に主眼を置いた広い視野に立って携わることのできる高度専門職業人を対象として学問的基盤をさらに深化させることによって高度、広範な医療に広く携わることのできる高度な専門職業人の育成を目指します。

4つの研究分野

基礎薬学
分野

化粧品機能
分野

食品栄養機能
分野

医薬政策管理
分野

博士前期課程 医療栄養学専攻 [2年制]

Clinical Dietetics and Human Nutrition,
Master's Program

医療や人々の健康に寄与できる
医学、薬学、栄養学の素養を身につけた
高度な専門職業人の育成を目指します

「医療の中で活躍できる」「高度な機能を有する食品を設計できる」「食毒性を回避した食事設計ができる」高度な専門職業人の養成を主たる目的としています。チーム医療に主眼を置き、バイオサイエンスを基盤とした食、薬、毒の生体作用を理解するための基礎知識を修得し、疾病予防への応用、機能性食品の開発に携わることのできる高度な専門職業人の養成を目指します。

3つの研究分野

医療栄養
分野

食毒性
分野

栄養政策管理
分野

博士後期課程 薬科学専攻 [3年制]

Pharmaceutical Sciences,
Doctoral Program

Pharma-Nutrition*(薬学分野と食品・栄養分野の融合分野)の視点で
医学、薬学、栄養学の領域を広く俯瞰し、人々の健康増進に寄与できる
きわめて高度な専門職業人の育成を目指します

医薬品、化粧品、生活消費化学品、機能性食品を研究・開発・評価するために必要な学識と専門性を養い、きわめて高度な専門職業人の育成を目標とします。そのため、薬学分野と食品・栄養分野を融合させた、Pharma-Nutritionという学際分野の視点を積極的に導入・展開し、生命科学の最新成果を取り入れた、より高度な薬科学の修得を目指します。

*これまでの薬学的な視点に加えて、薬学分野と食品・栄養分野の中間に位置して両者を融合させた学際分野をPharma-Nutritionと呼んでいます。

4つの研究分野

医薬品・
化粧品機能
分野

基礎薬学
分野

食品機能
分野

食毒性
分野

博士課程 薬学専攻 [4年制]

Pharmacy,
Doctoral Program

薬学分野の学問的基盤を充実し、保健・医療の高度化を推進して
国民一人ひとりのQOL(quality of life:生活の質)を支援できる
きわめて高度な専門性を有する医療人の育成を目指します

主に6年一貫の薬剤師養成課程を修了した上で、さらに豊かな学識を養い、高度に専門的な業務遂行に必要な研究能力を身につけることを目的としています。近年の生命科学の急速な進歩に対応できるように、生命科学の全体像を学び、豊かな素養を涵養し、さらに薬学の学識を深化することで、スペシャリストとしての学識と専門性を養い、きわめて高度な専門性を有する医療人の育成を目指します。

3つの研究領域

薬探索
領域

生体防御
領域

医療
領域

坂戸キャンパス

Sakado Campus

緑に囲まれた広大なキャンパス

NEW

(2019年3月竣工)

22
号館

延べ面積8,831㎡、地上7階・塔屋1階。薬学部の研究室や、さまざまな授業に使われる多くの講義室などを併設する、新たな教育施設です。シンプルで機能的に配置された内部空間は、各居室を南側に集め、採光に優れた快適な教育環境を整えています。



18
号館

薬科学科の教育・研究の拠点となる複合施設。実験室をはじめ、大・中の講義室、大演習室、大実験室、PCルーム等があります。共通機器室には先端機器が設置されています。また、1階から7階までの各階にラウンジがあり、学生たちが自習をしたり、コミュニケーションの場として活用しています。



薬用植物園



学生の教育、研究に必要な薬用植物を栽培しています。同時に近年激減し絶滅の危機にある植物を栽培し、種の保存にも努力しています。

学生駐車場

フットサル場

高麗川



ソフトボール場

ラグビー場

準硬式
野球場

12号館

2号館
(経済学部)

4号館

銀行・郵便局
ATM

1号館
(理学部)

5号館

ファミリー
マート

川角駅
(徒歩10分)

セブン
イレブン

正門

21
号館

薬学部の教育・研究の拠点として2017年春に竣工。地上9階建て、延べ面積11,590㎡の、大講義室・大実験室・PCルームのほか、アイソープセンターも組み込んだ、研究・教育の先端施設です。また、薬学部学生のための事務手続き・相談業務の窓口となる事務部門が1階に併設されています。



※写真手前は薬用植物園

16
号館

医療栄養学科の教育・研究の拠点として先進の機器が配備されています。5、6階は研究エリアとして遺伝子組換え室、栄養関連実験室など、高度な研究をサポート。1階から3階までの吹き抜けにラウンジが備えられ、開放感ある空間の中に講義および各種実習室が機能的に配置されています。



ンパスで充実した学生生活を

NEW

(2020年秋 完成予定)

下川原グラウンド
(仮称)

坂戸キャンパスの北側の約76,500㎡の広大な敷地に、新グラウンドを建設中。サッカー場2面、ソフトボール場1面、アップダウンのあるランニングコース、管理施設にはシャワー室やミーティングルームなどを備えます。



城西大学薬局



城西大学に隣接する明海大学病院前と、埼玉医科大学病院前に2つの「城西大学薬局」があります。薬学科の実務実習だけでなく、医療栄養学科の薬局実習や薬科学科のインターンシップなどに活用されます。



機器分析センター

最先端の計測器を取りそろえ、運用・管理しています。ガスクロマトグラフ質量分析器、700MHz核磁気共鳴装置など、研究活動に欠かすことのできない機器が充実しています。



生命科学研究センター

他の大学にはほとんど見られない高水準の施設。薬学の研究・教育を支援するとともに、民間からの受託研究・共同研究も行われています。

おすすめ！ キャンパススポット

1



水田記念図書館

蔵書数約47万冊。薬学研究に必要な自然科学系学術誌はもちろん、総合大学のため、他分野の図書・雑誌も充実しています。先輩が学生アドバイザーとして図書に関する相談にも対応しています。平日は21時まで開放。土日も開いているほか、一般開放(一部)も行っています。

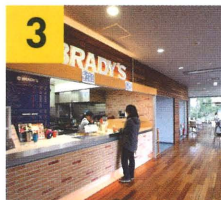
2



JU CAFE 2015(第1食堂棟1階)

坂戸キャンパス最大の学生食堂(JU CAFE 2015)は、男子学生の食欲を満たす栄養満点の定食や丼飯、麺類をはじめ、大学の厨房で毎日作る焼きたてパンや工夫を凝らしたパスタ類など、女子学生向けメニューも充実しています。

3



17号館(2階) カフェテリア

カフェテリアは、学生の憩いの場。日差しが気持ちいい日には、オープンエアのテーブルへ。眺めのよいスポットです。

水田三喜男記念館

水田三喜男先生の生涯と大学の歴史を、写真や映像などの各種展示物を通じて知ることができます。

4



5



水田美術館

本学の創始者である水田三喜男先生が生前に蒐集された200点余りの浮世絵や日本画などを所蔵しています。

6



水田清子記念ローズガーデン

水田清子記念ローズガーデンは、城西短期大学創立者水田清子先生の功績を顕彰するとともに、城西短期大学創立30周年および城西大学薬学部創設40周年を記念して整備されました。四季折々の花が楽しめます。

Campus Calendar

キャンパスカレンダー



4月

- 薬学部フレッシュマンキャンプ
- 入学式
- 健康診断 ●履修相談・申請
- 創立記念日(4/20)

5月

- 体育祭

6月

- 前期末試験

7月

- 夏期休業

8月

- 後期授業開始

9月

10月



- 高麗祭(学園祭)

11月

- 薬学共用試験(CBT)
- 冬期休業

12月

- 学共用試験(OSCE)
- 後期末試験

1月

- 薬剤師国家試験

2月

- 管理栄養士国家試験

3月



まいにち充実
を目指そう!

Activities

クラブ・サークル

クラブやサークルも大学生活の魅力のひとつ。その一部をご紹介します!

薬学部の学生が多数在籍!

- ◆吹奏楽部 ◆写真部
- ◆Blue Cats(チアリーダー部) ◆女子駅伝部
- ◆高麗祭実行委員会(学園祭の実行委員会)

医療栄養学科主催!

- ◆DHA(食品や栄養の情報交換や情報の発信)
- ◆ANSWER(スポーツ栄養サポートサークル)
- ◆薬と食の研究会

薬学部主催の多彩なサークル!

- ◆M's act(テニスサークル) ◆キャロット(バドミントンサークル)
- ◆薬学スキー同好会 ◆Bel's(医療系の他大学との交流サークル)
- ◆あんず組(ダンスサークル) ◆薬学バスケットボール同好会
- ◆マーブル(女子学生キャリア支援サークル)



Let's Enjoy!



ひと Campus情報

1限目の授業は朝の9:30スタートです!

シャトルバスが運行(→P.38)

大学と西武池袋線飯能駅(JR高麗川駅経由)、JR桶川駅を結ぶシャトルバスを毎日運行しています(有料)。また、大学と坂戸駅を結ぶ女子学生専用シャトルバスも運行しています(有料)。

学生用駐車場も利用可能

申請により学生駐車場を利用できます。

る大学時代を、より充実させるために。

学生サポート 万全の体制で、将来のプロフェッショナルを着実に育成します。

◆入学前サポート	◆生活サポート	◆就学サポート	◆就職サポート
▶フレッシュマンキャンプ ▶入学前導入教育 ▶メール相談 など	▶ピアサポート(上級生による支援) ▶担任制度 ▶保健センター ▶学生相談室 ▶学生ロッカー など	▶リメディアル教育 ▶国際教育 ▶国家試験対策支援 など	▶キャリアサポートガイダンス ▶業界・企業研究会 ▶公務員講座 ▶就職支援講座 など

日常生活から就職まで、学生の相談に対応。

各種保障制度も完備。

■保健センター

心身共に健全な状態で学生生活を送れるように、定期健康診断、健康相談などを行っています。

■学生相談室

学生生活を送る上で生じるさまざまな不安や疑問を解決する場所です。相談内容については秘密を厳守します。

■学生教育研究災害傷害保険制度

本学の正課中及び課外活動中・通学中・学校施設等相互間の移動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合で、死亡保険2,000万円、入院給付金(180日を限度)1日につき4,000円などの保険金が支払われます。

■就職課

就職課の専門職員が学生一人ひとりをサポートします。進路・職業への一般的な相談から、履歴書の書き方、自己PRの方法・模擬面接・作文添削まで、“あなたの相談員”が対応します。

■生命保険

死亡保険(病気による死亡・高度障害・不慮の事故による死亡・高度障害共)150万円、災害・入院給付金(5日以上120日を限度)1日につき2,250円など。

■共済

授業料補助、傷害見舞金、災害見舞金など。

さまざまな側面から学生を支援。

父母後援会

大学教員と父母が直接情報交換できる地区懇談会を開催しています。また、授業や日常生活における災害について、共済制度も設けています。

薬学協力会

薬学部の教育環境充実のための支援、キャリア形成のための支援や父母後援会とも連携して地区懇談会を行っています。

特待生入試制度

本学ならびに学部・学科のアドミッション・ポリシーに合致する知識と意欲を有し、一般入学試験A日程で成績上位合格者に対して授業料を免除する特待生制度を実施します。

	対象	免除	各学科免除額	人数	
S特待生	S特待生は受験科目の得点率が80%以上の成績上位者	初年度の授業料の全額	薬学科 / 146万円 薬科学科 / 126万円 医療栄養学科 / 138万円	5名	2年次以降も継続できる! 一定の基準を満たした場合、最長で4年間(薬学科は6年間)継続することができます。 (学生納付金→P.37)
A特待生	A特待生は受験科目の得点率が70%以上の成績上位者	初年度の授業料の半額	薬学科 / 73万円 薬科学科 / 63万円 医療栄養学科 / 69万円	7名	

(2018年度実績。詳細は本学WEBサイトでご確認ください)

奨学金

学生の経済的な事情を考慮し、各種奨学金制度をそろえています。

	対象	支給	金額	人数		
城西大学 奨学金制度※	人物・学業共に優秀な学生を対象に、授業料の一部を奨学金として支給する制度です。	第1種特待生	1年生	給付	30万円	1名選抜 (薬学科 2名選抜)
	第2種特待生	2年生以上				
日本学生支援機構奨学金	平成30年度入学者 *金額は1カ月の貸与額(貸与額を選択します)。 人物・学業・健康に優れ、経済的に修学が困難な学生に奨学金を貸与する制度です。	第一種奨学金 (無利子)	大学院	貸与	修士	50,000円 または 88,000円
			博士		80,000円 または 122,000円	
		大 学	自宅	貸与	(最高月額) 54,000円 (それ以外) 2万、3万、4万円	
			自宅外	貸与	(最高月額) 64,000円 (それ以外) 2万、3万、4万、5万円	
第二種奨学金 (有利子)	大学院	貸与	5万、8万、10万、13万、15万円			
	大 学	貸与	2万、3万、4万、5万、6万、7万、8万、9万、10万、11万、12万円 *薬学部は12万円を選択した場合に限り、2万円の増額可			
地方自治体奨学金	全国の各地方自治体が運営する奨学金制度を利用することもできます。					
水田三喜男記念 奨学生制度※	次世代の日本及び国際社会の各分野でそのより良き指導者となるべきリーダーの育成を目指した制度です。	本学学部生 (2年生)	給付	40万円(上限) 短期留学等に際しての渡航費用の一部として助成	1年度あたり 10名	
女性リーダー育成 奨励生制度※	国際社会において高度な専門能力・技能を身につけた女性リーダーの育成を図るため、設立された奨学金制度です。	学部生および 大学院に在籍 する女子学生	給付	40万円	1年度あたり 各数名まで	
グローバル チャレンジ 奨学金制度※	海外留学や海外研修制度、外国人留学生との交流等、本学独自の国際教育を通じて世界を体験し、そこで培われたグローバルな視野で物事を考え行動できる人材の育成を図るため、設立された奨学金制度です。	所定のエントリー資格を 満たしている 大学入試センター試験・ 指定校推薦入学試験 受験生	授与	30万円 短期留学等に際しての 渡航費用の一部として助成 など	33名	
経済支援特別給付 奨学金制度※	修学の意志があるにもかかわらず、入学後経済的理由などにより修学が困難な学生の支援を目的としています。	学費納入または 学業の継続が困難な 本学学部生	給付	30万円	10名	

※全学奨学金制度です。

(2018年度実績。詳細は本学WEBサイトでご確認ください)

出身校一覧 (出身都道府県別 在籍者数 [2019年度] 高校コード順)

- 北海道 (15名)
札幌薬岩/留明/北見北斗/室蘭薬/函館/札幌聖心女子学院/函館白百合学園/函館ラ・サール/クラーク記念国際
- 青森県 (14名)
青森東/八戸/五所川原/三木木/田名部/東奥義塾/八戸聖ウルスラ学院
- 岩手県 (9名)
盛岡第一/花巻北/水沢/金ヶ崎/福岡/岩手/盛岡白百合学園/盛岡中央
- 宮城県 (15名)
古川/気仙沼/多賀城/石巻好文館/名取北/仙台西/仙台育英学園/東北/東北学院/仙台白百合学園/秀光
- 秋田県 (8名)
秋田北/秋田南/花輪/能代/横手/御所野学院/聖霊女子短期大学付属
- 山形県 (8名)
山形西/山形中央/寒河江/鶴岡南/酒田西/日本大学山形/酒田南
- 福島県 (19名)
橋/安積黎明/郡山東/会津/磐城桜が丘/湯本/原町/郡山/いわき光洋/福島(私立)/福島成蹊/尚志/日本大学東北/石川(私立)/いわき秀英
- 茨城県 (72名)
水戸第一/麻生/土浦第一/土浦第二/竜ヶ崎第一/下館第二/下妻第一/水海道第一/古河第一/古河第三/境/水戸校/牧/牛久栄進/明秀学園日立/茨城キリスト教学園/茨城/常盤大学/水戸啓明/水城/土浦日本大学/東洋大学附属牛久/清真学園/江戸川学園取手/名浜学園/常総学院/聖徳大学附属取手聖徳女子/水戸学院/つくば秀英/岩瀬日本大学/つくば開成/第一学院(高秋校)
- 栃木県 (86名)
宇都宮/宇都宮南/宇都宮中央女子/宇都宮白楊/鹿沼/小山/栃木女子/佐野/足利/真岡/真岡女子/烏山/大田原/黒磯/鹿沼東/上三川/宇都宮清陵/栃木翔南/佐野東/作新学院/文芸芸術大学附属/宇都宮文星女子/宇都宮短期大学附属/國學院大學栃木/佐野日本大学/白鷗大学足利/矢板中央
- 群馬県 (74名)
前橋南/高崎女子/高崎商業/桐生女子/伊勢崎清明/太田(県立)/太田女子/沼田女子/館林/館林女子/渋川/富岡東/西邑楽/前橋(市立)/桐生市立商業/高崎北/前橋東/太田東/高崎東/高崎経済大学附属/共愛学園/桐生第一/常盤/新島学園/高崎商科大学附属/関東学園大学附属/東京農業大学第二/樹徳/前橋育英/高崎健康福祉大学高崎/明和県央/ぐんま国際アカデミー高等部
- 埼玉県 (921名)
筑波大学附属坂戸/熊谷/川越(県立)/春日部/松山/川口/浦和第一女子/熊谷女子/川越女子/春日部女子/松山女子/深谷第一/浦和西/不動岡/本庄/飯能/越ヶ谷/久喜/小川/秩父/大宮/蕨/草加/朝霞/岩槻/越谷北/坂戸/深谷商業/進修館/熊谷農業/与野/鴻巣/所沢/上尾/豊岡/桶川/志木/越谷南/川口北/所沢北/熊谷西/川越南/秩父農工科学/いずみ/大宮中央/大宮武蔵野/草加南/富士見/滑川総合/羽生第一/上尾南/春日部東/杉戸/川口総合/浦和(市立)/川越(市立)/川口(市立)/大宮北/大宮西/浦和南/県陽/川口東/浦和北/鷲宮/朝霞西/川越西/越谷西/坂戸西/所沢西/大宮東/南塚/所沢中央/草加東/庄和/大宮南/狭山橋/宮代/浦和東/新座総合技術/川越初雁/入間向陽/鳩山/伊奈学園総合/大宮光陵/越谷総合技術/久喜北陽/和光国際/鳩ヶ谷/上尾鷹の台/川口市立/聖望学園/敬明/浦和麗明/細田学園/淑徳与野/本庄第一/山村学園/山村国際/正智深谷/大宮開成/狭山ヶ丘/本庄東/武蔵越生/武南/東京成徳大学深谷/浦和実業学園/星野/大妻嵐山/浦和明の星女子/浦和ルーテル学院/城西大学付属川越/埼玉栄/浦和学院/栄東/秀明/昌平/獨協埼玉/春日部共栄/城北埼玉/西武台/西武学園文理/秀明英光/花咲徳栄/秋草学園/開智/川越東/埼玉平成/東京農業大学第三/自由の森学園/東野/国際学院/栄北/開智未来
- 千葉県 (77名)
検見川/船橋啓明/鎌ヶ谷/国府台/小金/柏(県立)/柏南/

- 佐原/銚子(県立)/成東/大多喜/安房/木更津/君津/松戸(市立)/銚子(市立)/松戸六実/船橋二和/市川南/柏中央/千葉西/市川朝/富里/幕張総合/成田/東葉/和洋国府台女子/千葉英和/日出国園/千葉明德/国府台女子学院高等部/東邦大学付属東邦/敬愛学園/専修大学松戸/日本大学習志野/中央学院/横芝敬愛/拓殖大学紅陵/八千代松陰/東京学院/志学館高等部/昭和学院秀英/市原中央/流通経済大学付属柏/西武台千葉/東京学館船橋/翔栄/わせがく/中央国際
- 東京都 (535名)
筑波大学附属/東京学芸大学附属/東京大学教育学部附属/東京工業高等/青山/井草/板橋/上野/大崎/片倉/清瀬/久留米西/国分寺/江北/小平/小松川/鷺宮/忍岡/石神井/昭和/神代/杉並/墨田川/高島/立川/多摩/日園調布/豊島/永山/練馬/白鷺/東/東大和一橋/日野/広尾/府中/府中東/府中西/福生/文京/保谷/本所/町田/松原/向丘/武蔵丘/武蔵村山/両国/青井/小平西/蒲田/城東/足立新田/武蔵野北/小平南/東大和南/東村山西/南平/世田谷東/科学技術/芦花/上水/翔陽/青梅総合/日野台/小金井北/新宿山吹/板橋有徳/葛飾総合/東久留米総合/九段/立川国際/多摩科学技術/大妻/神田女学園/共立女子/麹町学園女子/正則学園/東京家政学院/東洋/三輪学園/和洋九段女子/広尾学園/正則/東海大学付属高輪台/明治学院/山崎学園/海城/成城/保善/目白研心/青山学院高等部/国学院/瀧野川女子学園/帝京八王子/東京女学院/富士見丘/見華学園/桐朋女子/跡見学園/都文館/京華/京華女子/東洋大学京北/京北学園白山/駒込/淑徳SC高等部/昭和第一/東京電機大学/獨協/日本大学豊山/文京学院大学女子/上野学園/桜丘/順天/女子聖学院/駿台学園/聖学院/星美学園/成立学園/瀧野川女子学園/東京成徳大学/武蔵野/日本大学第一/安田学園/中村/足立学園/共栄学園/修徳/江戸川女子/関東第一/青稜/佃学院/文教大学付属/自由ヶ丘学園/トキワ松学園/八雲学園/東京実業/日本体育大学佐原/佼成学園女子/国士館/駒場学園/松蔭/昭和女子大学附属昭和/東京農工大学/日本女子体育大学附属二階堂/日本学園/日本大学櫻丘/玉川学園高等部/日本大学第三/実践学園/東亜学園/大妻中野/堀越/明治大学付属中野/杉並学院/佼成学園/文化学園大杉並/専修大学附属/東京立正/日本大学鶴ヶ丘/芝浦工業大学附属/十文字/城西大学附属城西/淑徳巣鴨/豊島岡女子学園/豊島学院/豊南/本郷/淑徳/城北(私立)/大東文化大学第一/帝京/東京家政大学附属女子/日本大学豊山女子/東京女子学院/自由学園高等科/東星学園/共立女子第二/工学院大学附属/東京純心女子/八王子学園八王子/八王子実践/昭和第一学園/立川女子/明星/啓明学園/錦城/白梅学園/創価/拓殖大学第一/日本体育大学校華/明法/国立音楽大学附属/NHK学園/聖徳学園/成蹊/藤村女子/法政大学/大成/明星学園/中央大学附属(小金井市)/武蔵野女子学院/文華女子/東海大学菅生/明治大学付属中野八王子
- 神奈川県 (45名)
多摩大学附属鶴ヶ丘/横浜緑ヶ丘/霧が丘/生田/西湘/鶴嶺/逗子/上溝/聖野/座間/大磯/綾瀬/川崎(市立)/高津/寒川/茅ヶ崎西浜/大船/藤沢清流/横浜雙葉/横浜女学院/青山学院横浜英和/鶴見大学附属/桐蔭学園/日本大学/武相/関東学院六浦/横浜/湘南学院/藤沢学園藤沢/向上/相洋/相模女子大学高等部/東海大学付属相模/麻布大学附属/横浜専大
- 新潟県 (23名)
巻/新発田/中条/長岡大手/三条東/六日町/柏崎/高田/長岡向陵/国際情報/直江津/佐渡/新潟明訓/北越/新潟清心女子/新潟第一/東京学館新潟/日本文理
- 富山県 (4名)
富山南/新湊/吳羽/南砺福野
- 石川県 (1名)
金沢
- 福井県 (1名)
羽水
- 山梨県 (27名)
韭崎/甲府第一/甲府南/日川/吉田/甲府西/甲府東/甲府昭和/富士北塚/駿台甲府/山梨学院/日本大学明誠/日本航空

- 長野県 (54名)
須坂東/長野吉田/長野(県立)/上田/上田東/野沢北/野沢南/諏訪二葉/伊那弥生ヶ丘/飯田/松本県ヶ丘/松本深志/松本鎌ヶ崎/下諏訪向陽/松商学園/長野清泉女学院/文化学園長野/長野日本大学/上田西/飯田女子/東京都市大学塩尻/東海大学付属諏訪/佐久長聖/信濃むつみ
- 岐阜県 (45名)
岐阜東/大垣日本大学
- 静岡県 (45名)
伊東/御殿場南/沼津東/沼津西/沼津城北/富士宮東/清水東/清水西/掛川西/袋井/磐田南/浜松東/浜松商業/富士東/浜松湖南/下田/知徳/日本大学三島/飛龍/加藤学園秀秀/星陵/静岡県富士見/静岡サレジオ/静岡雙葉/常葉大学附属橋/静岡北/静岡聖光学院/磐田東/浜松学院/浜松日体/桐蔭/藤枝明誠
- 愛知県 (9名)
千種/愛知/東海/東邦/名古屋女子大学/南山/星城
- 京都府 (1名)
花園
- 大阪府 (5名)
浪速/大谷/清教学園
- 兵庫県 (3名)
佐用/東洋大学附属姫路/第一学院(養父校)
- 奈良県 (1名)
天理
- 和歌山県 (1名)
近畿大学附属新宮
- 鳥取県 (2名)
鳥取東/倉吉東
- 岡山県 (1名)
新見
- 広島県 (2名)
広島/ノートルダム清心
- 山口県 (1名)
徳山
- 徳島県 (1名)
徳島文理
- 香川県 (1名)
大手前丸亀
- 愛媛県 (1名)
愛媛
- 高知県 (2名)
高知追手前/高知学芸
- 福岡県 (4名)
筑紫女子学園/柳川/第一薬科大学付属
- 佐賀県 (2名)
佐賀西/熊谷
- 長崎県 (1名)
佐世保北
- 熊本県 (1名)
第一
- 大分県 (2名)
日田
- 宮崎県 (2名)
宮崎工業/宮崎第一
- 鹿児島県 (5名)
松崎/鹿児島池田学園池田/鹿児島修学院/屋久島おおぞら
- 沖縄県 (14名)
首里/普天間/貝志川/開邦/那覇国際/沖繩尚学/興南
- 編・転・再入学試験 (4名)
- 高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定 (9名)
- 外国の学校等 (6名)

合計 2,136 名

一人暮らしの学生のために

アパート情報

学生課では、手頃なアパート情報を提供しています。城西大周辺のアパートの家賃は、都心と比べて格段に安くっており、多くの学生が東武越生線沿線、坂戸駅周辺のアパートに住んでいます。

アルバイト情報

学生課ではアルバイト情報を掲示により紹介しています。

学生納付金

薬学科 [6年制]

1年次	前期	1,293,000円
	後期	1,341,000円
	合計	2,634,000円
2~5年次	前期	1,364,000円
	後期	730,000円
	合計	2,094,000円
6年次	前期	1,404,000円
	後期	730,000円
	合計	2,134,000円

薬学科(6年制)では、5年次以降に実施される病院・薬局実習費用については、学生募集要項記載の学費等納入金以外に実習年度に納入していただくこともあります。

薬科学科 [4年制]

1年次	前期	1,093,000円
	後期	1,116,000円
	合計	2,209,000円
2,3年次	前期	1,139,000円
	後期	630,000円
	合計	1,769,000円
4年次	前期	1,179,000円
	後期	630,000円
	合計	1,809,000円

薬科学科(4年制)では、4年次に実施される臨床検査臨床実習(自由科目)を履修する場合、学生募集要項記載の学費等納入金以外に実習費用を実習年度に納入が必要になります。

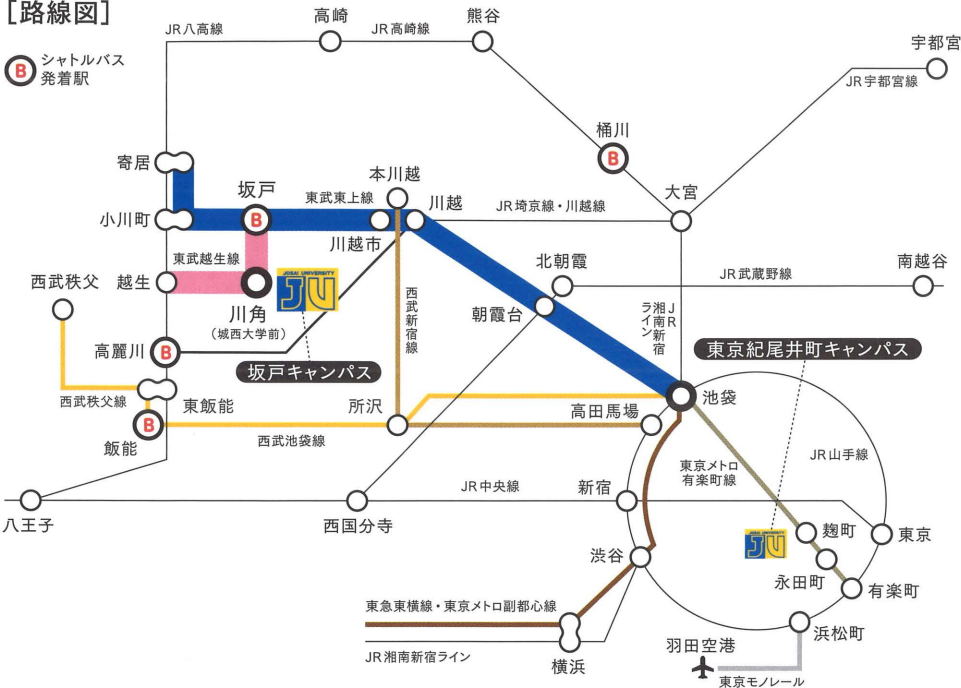
医療栄養学科 [4年制]

1年次	前期	1,153,000円
	後期	1,176,000円
	合計	2,329,000円
2,3年次	前期	1,199,000円
	後期	690,000円
	合計	1,889,000円
4年次	前期	1,239,000円
	後期	690,000円
	合計	1,929,000円

調理実習・学外実習費は、授業料に含まれています。ただし、これら実習に関わる交通費等の諸経費は実費負担となります。

ACCESS

[路線図]



[坂戸キャンパス徒歩最寄り駅]

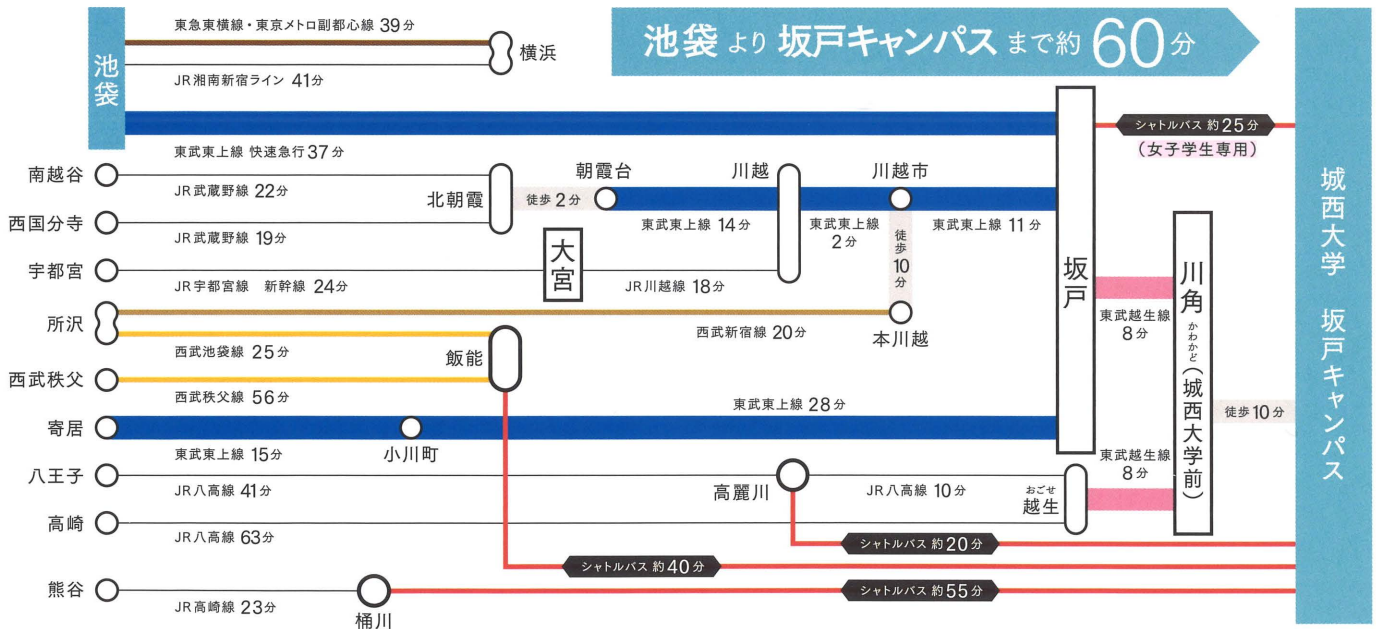
東武越生線
川角駅 より徒歩10分



[坂戸キャンパス車でのアクセス]

関越自動車道
鶴ヶ島ICより 車で20分
※学生用駐車場あり。

[電車での所要時間]



シャトルバス案内

4 駅からシャトルバスを運行しています。(時刻表は本学ホームページでご確認いただけます)

[坂戸キャンパスまでの所要時間]

坂戸駅より 25分 (女子学生専用)



高麗川駅より 20分



飯能駅より 40分



桶川駅より 55分



